

対象校No.

注4

学校コード F113310104009

注3

設置年度

令和

2年度

計画の区分： 学部の学科の設置

注1

届出

注2

東京医療保健大学 東が丘看護学部

看護学科

(必要がある場合) ○○専攻

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

学校法人 青葉学園

令和7年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 東が丘看護学部

職名・氏名
ブチョウ マユミ アキヒサ
部長 眞弓 彰久
シュニン サイトウ ヨウコ
主任 齋藤 容子

電話番号 03-5779-5031(内線104)

(夜間) 03-5779-5031(内線104)

e-mail higashigaoka-po@thcu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・大学の設置の場合：「〇〇大学」
- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_Q1087.html

4 対象校No.については、「【別紙】令和7年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

東が丘看護学部

＜看護学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	24
4. 既設大学等の状況	25
5. 教員組織の状況	26
6. 附帯事項等に対する履行状況等	49
7. その他全般的事項	51

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

学校法人青葉学園

(2) 大 学 名

東京医療保健大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒152-8558 東京都目黒区東が丘 2－5－1
(〒141-8648 東京都品川区東五反田 4－1－17)

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を () 書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(タムラ テツオ) 田村 哲夫 (平成14年4月)	(タムラ トシアキ) 田村 聡明 (令和7年4月)	変更理由：田村哲夫理事長退任の為。 変更年月日：令和7年4月1日 (報告年度：令和7年度)
学 長	(キムラ サトシ) 木村 哲 (平成25年4月)	(カメヤマ シュウジ) 亀山 周二 (令和3年4月)	変更理由：木村学長満期退任の為。 変更年月日：令和3年4月1日 (報告年度：令和3年度)
学 部 長	(ヤマニシ フミコ) 山西 文子 (平成25年4月)	—	
学科長等			

(注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を () 書きで記入してください
(例) 令和6年度に報告済の内容 → (6)
令和7年度に報告する内容 → (7)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)・当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、別ファイルにて提出してください。
 ・様式は、令和3年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和7年度までの5年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が6年を越え、様式に変更が必それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別途ご連絡ください。
 ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「留学」の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生を記載してください。
 ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
東が丘看護学部 看護学科 学士(看護学)	保健衛生学関係(看護学関係)	4年	100人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	400人		

- (注)・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の2))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 ・学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和○年度から学生募集停止(予定)」と記載して(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		春季入学以外の 学期区分について	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []			
志願者数	672 () []	() () []	838 () []	() () []	877 () []	() () []	638 () []	() () []	513 () []	() () []	518 () []	() () []	春季入学以外 の入学時期と 入学定員内訳	1.1倍	倍
受験者数	612 () []	() () []	773 () []	() () []	811 () []	() () []	571 () []	() () []	455 () []	() () []	474 () []	() () []			
合格者数	249 () []	() () []	296 () []	() () []	252 () []	() () []	227 () []	() () []	238 () []	() () []	313 () []	() () []			
B 入学者数	115 () []	() () []	122 () []	() () []	116 () []	() () []	111 () []	() () []	101 () []	() () []	115 () []	() () []			
入学定員超過率 B/A	1.15		1.22		1.16		1.11		1.01		1.15				

- (注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
 ・()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなど、その旨を「備考」に付記してください。
 ・該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・転入学生は記入しないでください。
 ・[]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。
 ・春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
 ・「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。
 ・なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳(予定を含む)を記載してください。(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。)
 ・「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 ・算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和8年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 ・なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 ・なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 ・「(5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」JAC対象学部学科等の倍率と一致し留意して計算してください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	115 [-] (-)	- [-] (-)	126 [-] (4)	- [-] (-)	121 [-] (5)	- [-] (-)	119 [-] (8)	- [-] (-)	103 [-] (2)	- [-] (-)	115 [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
2 年次			110 [-] (-)	- [-] (-)	127 [-] (12)	- [-] (-)	114 [-] (9)	- [-] (-)	118 [-] (10)	- [-] (-)	100 [-] (1)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
3 年次					100 [-] (-)	- [-] (-)	128 [-] (19)	- [-] (-)	112 [-] (11)	- [-] (-)	118 [-] (11)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
4 年次							98 [-] (5)	- [-] (-)	123 [-] (17)	- [-] (-)	110 [-] (10)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	
計	115 [-] (-)		236 [-] (4)		348 [-] (17)		459 [-] (41)		456 [-] (40)		443 [-] (21)				

(注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ [] 内には、留学生の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ () 内には、留年者の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
- また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区 分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	115 人	1 人	令和2年度	1 人	0 人	進路変更1名
令和3年度	236 人	4 人	令和2年度	2 人	0 人	意欲喪失1名・進路変更1名
			令和3年度	2 人	0 人	進路変更2人
令和4年度	348 人	7 人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	4 人	0 人	他転学4人
			令和4年度	3 人	0 人	進路変更3人
令和5年度	459 人	7 人	令和2年度	4 人	0 人	同大学転科1人・学力不足2人・修学意欲低下1名
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	2 人	0 人	進路変更2人
			令和5年度	1 人	0 人	進路変更1人
令和6年度	456 人	6 人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	2 人	人	除籍1名・進路変更1名
			令和5年度	2 人	人	同大学転科1人・学生個人の心身に関する事情1人
			令和6年度	2 人	0 人	進路変更2人
令和7年度	443 人	人	令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
			令和4年度	人	人	
			令和5年度	人	人	
			令和6年度	人	人	
			令和7年度	人	人	
合 計		25 人		25 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下 (○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例) ・修学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数 (a)}}{\text{令和2年度の在学者数 (a+b)}} = \frac{1}{116} = 0.86 \% \quad \text{数式が入力されています。}$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数 (a)}}{\text{令和3年度の在学者数 (a+b)}} = \frac{4}{240} = 1.66 \% \quad \text{数式が入力されています。}$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数 (a)}}{\text{令和4年度の在学者数 (a+b)}} = \frac{7}{355} = 1.97 \% \quad \text{数式が入力されています。}$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数 (a)}}{\text{令和5年度の在学者数 (a+b)}} = \frac{7}{466} = 1.5 \% \quad \text{数式が入力されています。}$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数 (a)}}{\text{令和6年度の在学者数 (a+b)}} = \frac{6}{462} = 1.29 \% \quad \text{数式が入力されています。}$$

【令和7年度】

$$\frac{\text{令和7年度の退学者数 (a)}}{\text{令和7年度の在学者数 (a+b)}} = \frac{0}{443} = 0 \% \quad \text{数式が入力されています。}$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<東が丘看護学部学部 看護学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置						兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 修	自 由	教 育	准 教 員	講 義	助 手	助 手	助 手	
基礎分野	人間関係論	1前	1									兼1
	心理学	1前	1									兼1
	哲学	1前		1								兼1
	倫理学	1前		1								兼1
	社会学	1前		1								兼1
	文化人類学	1前		1								兼1
	法学	1後		1								兼1
	論理学	1前	2									兼1
	自然科学の基礎	1前	1			1	1					兼1
	スポーツ科学	1後			2							兼1
	社会保障制度概論	2前		1								兼1
	ボランティア論	2後		1			1					兼2
	統計学	2前	2									兼1
	情報リテラシー	1前	1									兼1
	教育学	2前	2									兼1
	実用英語Ⅰ	1前	2									兼4
	実用英語Ⅱ	1後	2									兼4
	実用英語Ⅲ	2前	2									兼4
	中国語	1前		1								兼1
	スペイン語	1前		1								兼1
	小計 (20科目)	-	16	9	2	1	1	0	0	0	0	兼20
専門基礎分野	医療と法 (看護関係法規)	2前	1									兼1
	医学概論	1前	1									兼1
	解剖生理学Ⅰ	1前	2									兼1
	解剖生理学Ⅱ	1前	2									兼1
	病理学	1後	2									兼1
	生化学	1後	1									兼1
	微生物学	1前	1									兼1
	薬理学	1後	1									兼1
	疾病と治療Ⅰ (呼吸器系・	1後	2									兼2
	疾病と治療Ⅱ (血液系・循	1後	2									兼2
	疾病と治療Ⅲ (神経系・骨	2前	2									兼2
	疾病と治療Ⅳ (泌尿器系・	2前	2			1	2					兼1
	疾病と治療Ⅴ (感覚器系・	2後	2									兼1
	疾病と治療Ⅵ (精神系)	2後	1									兼1
	臨床検査学演習	2前	1			3	1		1			兼1
	臨床栄養学演習	2後	1				1					兼1
	臨床薬理学演習	2後	1									兼1
	公衆衛生学	2前	2			1			1			兼1
	人間工学	2前		1								兼1
	医療・看護情報学の基礎	2前	1									兼1
	実用医療英語	2後	1			2						兼1
基礎看護学	政策医療論	2後	1			1						兼1
	保健医療福祉システム論	2後		1			1					兼1
	小計 (23科目)	-	30	2	0	4	4	0	1	0	0	兼20
	看護学概論	1前	1			1						兼1
	看護倫理	1後	1				1					兼1
基礎看護学	看護理論	2後	1				1					兼1
	看護教育学	4後	1			1						兼1
	看護学体験実習	1前	1			1		1	10	7		兼1
	看護学概論	1前	1			1						兼1

【令和7年度】 (新)

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置						兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 修	自 由	教 育	准 教 員	講 義	助 手	助 手	助 手	
基礎分野	人間関係論	1前	1									兼1
	心理学	1前	1									兼1
	哲学	1前		1								兼1
	倫理学	1前		1								兼1
	社会学	1前		1								兼1
	文化人類学	1前		1								兼1
	法学	1後		2								兼1
	論理学	1前	2									兼1
	自然科学の基礎	1前	1			1	1		1			兼1
	スポーツ科学	1後			2							兼1
	情報リテラシー	1前	1									兼1
	教育学	2前	2									兼1
	実用英語Ⅰ	1前	2									兼4
	実用英語Ⅱ	1後	2									兼4
	実用英語Ⅲ	2前	2									兼4
	中国語	1前		1								兼1
	スペイン語	1前		1								兼1
	小計 (17科目)	-	14	8	2	1	1	0	1	0	0	兼17
専門基礎分野	医療と法 (看護関係法規)	1前	1									兼1
	カウンセリングの基礎	2前		1								兼1
	医学概論	1前	1									兼1
	解剖生理学Ⅰ	1前	2					1				兼1
	解剖生理学Ⅱ	1前	2					2		1		兼1
	病理学	1後	2									兼1
	微生物学	1前	1									兼1
	薬理学	1後	2									兼1
	栄養学	2前	1									兼1
	疾病と治療Ⅰ (呼吸器系・	1後	2									兼2
	疾病と治療Ⅱ (血液系・循	1後	2									兼2
	疾病と治療Ⅲ (神経系・骨	2前	2									兼2
	疾病と治療Ⅳ (泌尿器系・	2前	2					1	1			兼1
	疾病と治療Ⅴ (感覚器系・	2後	1									兼1
	疾病と治療Ⅵ (精神系)	2後	1									兼1
	臨床検査学演習	2前	1					1	1		1	兼1
	公衆衛生学	2前	2						1			兼1
基礎看護学	人間工学	2前		1								兼1
	ボランティア論	2後		1				1				兼1
	看護情報学・統計学演習	2前	1					1		1		兼2
	実用医療英語	2後	1									兼1
	政策医療論	2後						1				兼1
基礎看護学	保健医療福祉システム論	2前	1									兼1
	小計 (23科目)	-	29	3	0	4	5	1	2	0	0	兼19

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置						兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 修	自 由	教 育	准 教 員	講 義	助 手	助 手	助 手	
基礎看護学	看護学概論	1前	1			1	1		2			兼1
	看護倫理	1後	1				1	2	1	1		兼1
	看護理論	2後	1					1				兼1
	看護教育学	4後	1			1						兼1
	看護学体験実習	1前	1			1		1	1	2		兼1
	看護学概論	1前	1			1	1					兼1

専門分野	基礎看護技術学	看護実践技術論Ⅰ (日常生活における援助技術)	1前	2			1		1		3	
		看護実践技術論Ⅱ (治療・処置における援助技術)	1後	1			1		1		3	
		看護実践技術論Ⅲ (看護技術の統合)	1後	1			1		1		3	
		ヘルスアセスメント	1前	1			1		1		3	
		フィジカルアセスメント	1後	1			1		2		3	
		看護過程と看護方法論	1後	1			1		1		3	
		日常生活援助展開実習	1後	1			1		1	10	7	
		看護過程展開実習	2前	2			1		1	10	7	
	臨床実践看護学	成人看護学概論	1後	1				2	1			
		急性期看護論	3前	1				2	2			
		慢性期看護論	2前	1				1				
		終末期看護論	3前	1				1				
		成人看護実践論	3前	1				2	2	1		
		成人看護の探求	3後	1				2	2			
		急性期看護学実習	3後	2					1			
		慢性期看護学実習	3後	2				1			1	
		終末期看護学実習	3後	2				1			1	
		老年看護学概論	1後	1				1	1			
		老年看護実践論	2前	2				2	2	1		
		家族看護学	2後	1				1				
		老年生活支援実習	2後	2					1	1	2	
		老年看護学実習	3後	2					1	1		
		母性看護学概論	2後	2			1	2				
		母性看護実践論	3前	2				1		2		
		母性看護学実習	3後	2				1		2		
		小児看護学概論	2後	2			1	1		1		
		小児看護実践論	3前	2			1	1		1		
		小児看護学実習	3後	2			1	1		1		
		精神看護学概論	2後	2			1		1	1		
		精神看護実践論	3前	2				1	1	1		
		精神看護学実習	3後	2			1		1	1		
		臨床コミュニケーション	2前	1			1		1	1		
		障害者看護論	3後	1			1		1	1		
		小計(38科目)	-	54	0	0	4	6	5	10	7	兼0

専門分野	基礎看護技術学	看護実践技術論Ⅰ (日常生活における援助技術)	1前	2			1	1	1	2		
		看護実践技術論Ⅱ (治療・処置における援助技術)	1後	1			1	1	1	2		
		看護実践技術論Ⅲ (看護技術の統合)	1後	1			1	1	1	2		
		ヘルスアセスメント	1前	1				1	1	2		
		フィジカルアセスメント	2後	1				1	1	1		
		看護過程と看護方法論	1後	1			1	1	1	2		
		日常生活援助展開実習	1後	1				1	1	1	2	
		看護過程展開実習	2前	2			1	1	1	2		
	地域・在宅看護学	地域看護学概論	1前	1			1					
		自立支援教育論	1後	1					1			
		疾病予防看護論	2前	1					1			
		在宅看護学概論	2後	1			1			1		
		在宅看護実践論	3前	1					1	1		
		在宅看護学実習	3後	2			1		1	1		
	臨床実践看護学	成人看護学概論	1後	1			1					
		急性期看護論	3前	1					1			
		慢性期看護論	2前	1				1	1	1		
		終末期看護論	3前	1			1					
		成人看護実践論	3前	1				1	1	1		
		成人看護の探求	4前	1			1	2	1			
		老年看護学概論	1後	1				1				
		老年看護実践論	2前	2				2	1	1		
		家族看護学	2後	1				1				
		急性期看護学実習	3後	2					1			
		慢性期看護学実習	2後	3			1	2	1	1		
		終末期看護学実習	3後	2			1	1		1		
		小児看護学概論	2後	2			1	1		1		
		小児看護実践論	3前	2			1	1		1		
		小児看護学実習	3後	2			1	1		1		
		小児看護学実習	3後	2			1	1		1		
		母性看護学概論	2後	2			1	1		1		
		母性看護実践論	3前	2			1	1	2	1		
		母性看護学実習	3後	2			1	2	2	3		
		母性看護学実習	3後	2			1	2	2	3		
		精神看護学概論	2後	1			1		1	1		
		精神看護実践論	3前	2			1		1	1		
		精神看護学実習	3後	2			1		1	1		
		臨床コミュニケーション	2前	1			1		1	1		
		障害者看護論	3後	1			1		1	1		
		小計(42科目)	-	59	0	0	6	8	7	10		兼0

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置						兼任・ 兼担
			必	選	自	教	准 教 員	助 教	助 教	助 教	助 教	
			修	修	修	員	員	員	員	員	員	
統合 分野	在宅 看護 学	在宅看護学概論	3前	2			1	1		1		
		在宅看護実践Ⅰ (在宅における看護技術と危険管理)	3後	1			1	1	2	1		
		在宅看護実践Ⅱ (地域におけるケアシステムと連携)	4前	1					1	2	1	
		在宅看護学実習	4前	2			1	1	2	1		
	地域 看護 学	地域看護学概論	2後	1			1		2			
		自立支援教育論	2後	1			1	1	2			
		疾病予防看護学	2後	1			1	1	2			
	研究	看護研究の基礎	3前	1			3	2				
		英語論文のクリティーク	3後	1			8	8	7	10	7	
		卒業研究	4通	3			8	9	7	10	7	兼1
		看護学統合実習	4前	3			4	6	7	10		
	看護 管理 学	看護管理学	3前	1			1					
		医療安全学	3前	1			1					兼1
		災害看護学	2後	1				1	1	2		
		看護学統合実習	4前	3			4	6	7	10		
		国際看護学Ⅰ	2後	1			1	1				
		国際看護学Ⅱ	3前		2		1					
チーム医療論		4前	1			1						
看護 職と キャ リア 形成	看護職とキャリア形成	4後	1				1					
	NP論	4後		1		1					兼1	
	看護政策論	4後		1		1					兼1	
	小計(20科目)	-	23	4	0	8	9	7	10	7	兼2	
合計(101科目)		-	123	15	2	8	9	7	10	7	38	
卒業要件及び履修方法												
「基礎分野」については16単位、「専門基礎分野」については30単位、「専門分野」については54単位、「統合分野」については23単位、上記4分野からの選択科目6単位の合計129単位以上とする。(履修科目の登録の上限:45単位(年間))												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼担
			必	選	自	教	准教	助	助	助	助	
統合分野	研究	看護研究の基礎	3前	1			3	2				
		英語論文のクリティーク	3後	1			9	8	7	10		
		卒業研究	4通	3			9	8	7	10		
	看護マネジメント	災害看護学	2後	1				1				
		医療安全学	3前	1					1	1		
		看護管理学	3前	1				1				
		国際看護学Ⅰ	2後	1			1					
		国際看護学Ⅱ	3前		2		1			1		
		チーム医療論	4前	1			1					
		看護政策論	4後	1			1					
	キャリアマネージメント	看護学統合演習	4前	1			9	8	7	10		
		看護学統合実習	4前	2			9	8	7	10		
		看護職とキャリア形成	4後	1				1				
		NP論	4後		1		1	1				
		キャリア開発実習: クリティカルケア	4前		2			1	2			
		キャリア開発実習: がん看護	4前		2		1	1		2		
		キャリア開発実習: 認知症患者のケア	4前		2		2	1	1	3		
		キャリア開発実習: 重症心身障害者のケア	4前		2		1	1		1		
		キャリア開発実習: マタニティケア	4前		2		1	2	2	3		
		キャリア開発実習: 精神疾患患者のケア	4前		2		1		1	1		
		キャリア開発実習: 地域保健行政・在宅	4前		2		1	1	1	2		
		キャリア開発実習: 国際感染症患者のケア	4前		2		1	1	1	1		
	小計(22科目)		-	14	20	0	9	8	7	10		兼0
合計(104科目)		-	116	31	2	9	8	7	10			34
卒業要件及び履修方法												
「基礎分野」については14単位、「専門基礎分野」については29単位、「専門分野」については59単位、「統合分野」については14単位、上記4分野からの選択科目8単位の合計124単位以上とする。(履修科目の登録の上限:45単位(年間))												

【令和6年度】（新）

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任			
				必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手				
				修	修	修	授	授	師	教	手				
基礎分野	人間尊重と人間関係の形成	人間関係論	1前	1									兼1		
		心理学	1前	1									兼1		
		哲学	1前		1								兼1		
		倫理学	1前		1								兼1		
		社会学	1前		1								兼1		
		文化人類学	1前		1								兼1		
		法学	1後		2								兼1		
	健康問題の解決	論理学	1前	2									兼1		
		自然科学の基礎	1前	1			1	1		1			兼1		
		スポーツ科学	1後			2							兼1		
専門基礎分野	人間関係	情報リテラシー	1前	1									兼1		
		小計（17科目）	-	14	8	2	1	1	0	1	0		兼17		
	健康問題の解決・看護技術力	医療と法（看護関係法規） カウンセリングの基礎	1前 2前	1 1		1							兼1 兼1		
		医学概論	1前	1									兼1		
		解剖生理学Ⅰ	1前	2				1							
		解剖生理学Ⅱ	1前	2				2							
		病理学	1後	2									兼1		
		微生物学	1前	1									兼1		
		薬理学	1後	2									兼1		
		栄養学	2前	1									兼1		
疾病と治療Ⅰ（呼吸器系・		1後	2									兼2			
疾病と治療Ⅱ（血液系・循		1後	2									兼2			
疾病と治療Ⅲ（神経系・骨		2前	2									兼2			
疾病と治療Ⅳ（泌尿器系・		2前	2				2								
疾病と治療Ⅴ（感覚器系・		2後	1									兼1			
疾病と治療Ⅵ（精神系）		2後	1									兼1			
臨床検査学演習		2前	1			1	1		1						
公衆衛生学	2前	2				2									
キャリア開発能力	人間工学	2前		1								兼1			
	ボランティア論	2後		1			1								
	看護情報学・統計学演習	2前	1				1		1						
	実用医療英語	2後	1									兼2			
	政策医療論	2後	1				1								
	保健医療福祉システム論	2前	1									兼1			
	小計（23科目）	-	29	3	0	3	5	1	1	0		兼19			
科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任			
				必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手				
基礎看護学	基礎看護学	看護学概論	1前	1			1				3				
		看護倫理	1後	1			1	2	1	1					
		看護理論	2後	1			1	1							
		看護教育学	4後	1			1								
		看護学体験実習	1前	1			1	1	1	3					
	基礎看護技術学	看護実践技術Ⅰ（日常生活における援助技術と判断）	1前	2			1	1	1	3					
		看護実践技術Ⅱ（治療・処置における援助技術と判断）	1後	1			1	1	1	3					
		看護実践技術Ⅲ（看護技術の統合）	1後	1			1	1	1	3					
		ヘルスアセスメント	1前	1				1	1	3					
		フィジカルアセスメント	2後	1				1	1	2					
		看護過程と看護方法論	1後	1			1	1	1	3					
		日常生活援助展開実習	1後	1				1	2	3					
		看護過程展開実習	2前	2			1	1	1	3					
		基礎看護学	基礎看護学	看護学概論	1前	1			1				3		
				看護倫理	1後	1			1	2	1	1			
看護理論	2後			1			1	1							
看護教育学	4後			1			1								
看護学体験実習	1前			1			1	1	1	3					
基礎看護技術学	看護実践技術Ⅰ（日常生活における援助技術と判断）		1前	2			1	1	1	3					
	看護実践技術Ⅱ（治療・処置における援助技術と判断）		1後	1			1	1	1	3					
	看護実践技術Ⅲ（看護技術の統合）		1後	1			1	1	1	3					
	ヘルスアセスメント		1前	1				1	1	3					
	フィジカルアセスメント		2後	1				1	1	2					
	看護過程と看護方法論		1後	1			1	1	1	3					
	日常生活援助展開実習		1後	1				1	2	3					
	看護過程展開実習		2前	2			1	1	1	3					

【令和5年度】（新）

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担		
				必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教 数	助 手			
				修 得	得	由	授	授	師	数	手			
基礎 分野	人間尊重と人間関係の形成	人間関係論	1前	1									兼1	
		心理学	1前	1									兼1	
		哲学	1前		1								兼1	
		倫理学	1前		1								兼1	
		社会学	1前		1								兼1	
		文化人類学	1前		1								兼1	
		法学	1後		2								兼1	
	健康問題の解決	論理学	1前	2									兼1	
		自然科学の基礎	1前	1			2	1		1				
		スポーツ科学	1後		2								兼1	
	自己啓発力	情報リテラシー	1前	1									兼1	
		教育学	2前	2									兼1	
		実用英語Ⅰ	1前	2									兼1	
実用英語Ⅱ		1後	2									兼2		
実用英語Ⅲ		2前	2									兼1		
中国語		1前		1								兼1		
スペイン語		1前		1								兼1		
専門 基礎 分野	小計（17科目）		－	14	10	0	2	1	0	1	0		兼17	
	看護系 基礎 科目	医療と法（看護関係法規）	2後	1									兼1	
		カウンセリングの基礎	2前		1								兼1	
	健康問題の解決	医学概論	1前	1									兼1	
		解剖生理学Ⅰ	1前	2				1	1					
		解剖生理学Ⅱ	1前	2				2	1					
		病理学	1後	2									兼1	
		微生物学	1前	1									兼1	
		薬理学	1後	2									兼1	
		栄養学	2前	1									兼1	
		疾病と治療Ⅰ（呼吸器系・	1後	2									兼2	
		疾病と治療Ⅱ（血液系・循	1後	2									兼2	
		疾病と治療Ⅲ（神経系・骨	2前	2									兼2	
疾病と治療Ⅳ（泌尿器系・		2前	2					2						
疾病と治療Ⅴ（感覚器系・	2後	1									兼1			
疾病と治療Ⅵ（精神系）	2後	1									兼1			
キャリア開発	臨床検査学演習	2前	1			2	1		1					
	公衆衛生学	2後	2			1	1		1					
基礎 看護 学	キャリア開発	人間工学	2前		1								兼1	
		ボランティア論	2後		1			1						
	自己啓発力	看護情報学・統計学演習	2前	1				1						
		実用医療英語	2後	1			1							
		政策医療論	2後	1				1						
		保健医療福祉システム論	2前	1									兼1	
		小計（23科目）		－	29	3	0	3	4	0	1	0		兼17
	科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
					必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教 数	助 手		
	基礎 看護 学	基礎看護学	看護学概論	1前	1			1						
			看護倫理	1後	1			1	3	1				
			看護理論	2後	1				1		1			
			看護教育学	4後	1			1			1			
看護学体験実習			1前	1			1	1	1	6	1			
基礎看護技術学		看護実践技術Ⅰ （日常生活における援助技術と観察）	1前	2			1	1	1	3	1			
		看護実践技術Ⅱ （治療・処置における援助技術と観察）	1後	1			1	1	1	3	1			
		看護実践技術Ⅲ （看護技術の統合）	1後	1			1	1	1	3	1			
		ヘルスアセスメント	1前	1			1	1		2	1			
		フィジカルアセスメント	2後	1				2		2	1			
		看護過程と看護方法論	1後	1			1	1	1	2	1			
		日常生活援助展開実習	1後	1			1	1	3	8	1			
		看護過程展開実習	2前	2			1	1	2	9	1			

小計(22科目)	-	14	20	0	9	9	8	13	兼0
合計(104科目)	-	116	31	2	9	9	8	13	39

卒業要件及び履修方法

「基礎分野」については14単位、「専門基礎分野」については29単位、「専門分野」については59単位、「統合分野」については14単位、上記4分野からの選択科目8単位の合計124単位以上とする。(履修科目の登録の上限:45単位(年間))

小計(22科目)	-	14	20	0	8	10	7	10	1	兼0
合計(104科目)	-	116	33	0	8	9	7	13	1	38

卒業要件及履修方法

「基礎分野」については 14 単位、「専門基礎分野」については 29 単位、「専門分野」については 59 単位、「統合分野」については 14 単位、上記 4 分野からの選択科目 8 単位の合計 124 単位以上とする。(履修科目の登録の上限:45 単位/年間)

【令和4年度】(新)

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置							兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 修	自 由	教 育 学	人 間 関 係 学	理 学	文 学	法 学	他	他	
基礎分野	人間関係論	1前	1										兼1
	心理学	1前	1										兼1
	哲学	1前		1									兼1
	倫理学	1前		1									兼1
	社会学	1前		1									兼1
	文化人類学	1前		1									兼1
	法学	1後		2									兼1
	論理学	1前	2										兼1
	自然科学の基礎	1前	1			2	1		1				兼1
	スポーツ科学	1後		2									兼1
専門基礎分野	情報リテラシー	1前	1										兼1
	教育学	2前	2										兼1
	実用英語Ⅰ	1前	2										兼1
	実用英語Ⅱ	1後	2										兼4
	実用英語Ⅲ	2前	2										兼1
	中国語	1前		1									兼1
	スペイン語	1前		1									兼1
	小計(17科目)	-	14	10	0	2	1	0	1	0			兼16
	医療と法(看護関係法規)	2後	1										兼1
	カウンセリングの基礎	2前		1		1							
専門基礎分野	医学概論	1前	1										兼1
	解剖生理学Ⅰ	1前	2			1	1						
	解剖生理学Ⅱ	1前	2			1	1						
	病理学	1後	2										兼1
	微生物学	1前	1										兼1
	薬理学	1後	2										兼1
	栄養学	2前	1										兼1
	疾病と治療Ⅰ(呼吸器系・)	1後	2										兼2
	疾病と治療Ⅱ(血液系・循	1後	2										兼2
	疾病と治療Ⅲ(神経系・骨	2前	2										兼2
専門基礎分野	疾病と治療Ⅳ(泌尿器系・	2前	2				2						
	疾病と治療Ⅴ(感覚器系・	2後	1										兼1
	疾病と治療Ⅵ(精神系)	2後	1										兼1
	臨床検査学演習	2前	1			2	1		1				
	公衆衛生学	2後	2			1	1		1				
	人間工学	2前		1									兼1
	ボランティア論	2後		1			1						
	看護情報学・統計学演習	2前	1				1						
	実用医療英語	2後	1				1						
	政策医療論	2後	1				1						
専門基礎分野	保健医療福祉システム論	2前	1										兼1
	小計(23科目)	-	29	3	0	3	4	0	1	0			兼18

【令和3年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置							兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 修	自 由	教 育 学	人 間 関 係 学	理 学	文 学	法 学	他	他	
基礎分野	人間関係論	1前	1										兼1
	心理学	1前	1										兼1
	哲学	1前		1									兼1
	倫理学	1前		1									兼1
	社会学	1前		1									兼1
	文化人類学	1前		1									兼1
	法学	1後		1									兼1
	論理学	1前	2										兼1
	自然科学の基礎	1前	1			2	1	1					兼1
	スポーツ科学	1後		2									兼1
専門基礎分野	社会保障制度概論	2前		1									兼1
	ボランティア論	2後		1				1					
	統計学	2前	2					1					
	情報リテラシー	1前	1										兼1
	教育学	2前	2										兼1
	実用英語Ⅰ	1前	2										兼4
	実用英語Ⅱ	1後	2										兼4
	実用英語Ⅲ	2前	2										兼1
	中国語	1前		1									兼1
	スペイン語	1前		1									兼1
専門基礎分野	小計(20科目)	-	16	11	0	2	2	1	0	0			兼17
	医療と法(看護関係法規)	2前	1										兼1
	医学概論	1前	1										兼1
	解剖生理学Ⅰ	1前	2				1	1					
	解剖生理学Ⅱ	1前	2				1	1					
	病理学	1後	2										兼1
	生化学	1後	1										兼1
	微生物学	1前	1										兼1
	薬理学	1後	1										兼1
	疾病と治療Ⅰ(呼吸器系・)	1後	2										兼2
専門基礎分野	疾病と治療Ⅱ(血液系・循	1後	2										兼2
	疾病と治療Ⅲ(神経系・骨	2前	2										兼2
	疾病と治療Ⅳ(泌尿器系・	2前	2					2					
	疾病と治療Ⅴ(感覚器系・	2後	1										兼1
	疾病と治療Ⅵ(精神系)	2後	1										兼1
	臨床検査学演習	2前	1			2	1	1	1				
	臨床栄養学演習	2後	1					1					兼1
	臨床薬理学演習	2後	1					1					
	公衆衛生学	2前	2				1	1	1				
	人間工学	2前		1									兼1
専門基礎分野	医療・看護情報学の基礎	2前	1					1					
	実用医療英語	2後	1					1					
	政策医療論	2後	1					1					
	保健医療福祉システム論	2後		1									兼1
	小計(23科目)	-	30	2	0	3	4	1	1	0			兼18

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置							兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 修	自 由	教 育 学	人 間 関 係 学	理 学	文 学	法 学	他	他	
基礎看護学	看護学概論	1前	1			1							兼1
	看護倫理	1後	1										
	看護理論	2後	1				1						
	看護教育学	4後	1				1						
	看護学体験実習	1前	1			1	2	1	6	2			
基礎看護技術学	看護実践技術Ⅰ (日常生活における援助技術)	1前	2			1	2		2	1			
	看護実践技術Ⅱ (治療・処置における援助技	1後	1			1	2		2	1			
	看護実践技術Ⅲ (看護技術の統合)	1後	1			1	2		2	1			
	ヘルスアセスメント	1前	1			1	2		2	1			
	フィジカルアセスメント	2後	1				3		2	1			
	看護過程と看護方法論	1後	1			1	2		2	1			
	日常生活援助展開実習	1後	1			1	2	3	9	2			
	看護過程展開実習	2前	2			1	2	1	9	2			

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置							兼 任 ・ 兼 担
			必 修	選 修	自 由	教 育 学	人 間 関 係 学	理 学	文 学	法 学	他	他	
基礎看護学	看護学概論	1前	1			1							
	看護倫理	1後	1										
	看護理論	2後	1						1				
	看護教育学	4後	1				1						
	看護学体験実習	1前	1			1	1	3	6	4			
基礎看護技術学	看護実践技術Ⅰ (日常生活における援助技術)	1前	2			1	1	1	1	2			
	看護実践技術Ⅱ (治療・処置における援助技	1後	1			1	1	1	1	2			
	看護実践技術Ⅲ (看護技術の統合)	1後	1			1	1	1	1	2			
	ヘルスアセスメント	1前	1			1	1	1	1	2			
	フィジカルアセスメント	1後	1				2	1	1	2			
	看護過程と看護方法論	1後	1			1	1	1	1	2			
	日常生活援助展開実習	1後	1			1	1	5	8	4			
	看護過程展開実習	2前	2			1	1	3	6	4			

専門分野	地域・在宅看護学	地域看護学概論 自立支援教育論 疾病予防看護論 在宅看護学概論 在宅看護実践論 在宅看護学実習	1前 1後 2前 2後 3前 3後	1 1 2 2 1 2				1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1	兼1 兼1 兼1 兼1
	臨床実践看護学	成人看護学概論 急性期看護論 慢性期看護論 終末期看護論 成人看護実践論 成人看護の探求 老年看護学概論 老年看護実践論 家族看護学 急性期看護学実習 慢性期看護学実習 終末期看護学実習 小児看護学概論 小児看護実践論 小児看護学実習 母性看護学概論 母性看護実践論 母性看護学実習 精神看護学概論 精神看護実践論 精神看護学実習 臨床コミュニケーション 障害者看護論	1後 3前 2前 3前 3前 4前 1後 2前 2後 3後 2後 3後 2後 3前 3後 2後 3前 3後 2前 3後	1 1 1 1 1 1 1 2 2 2 3 2 2 2 2 2 2 1 2 2 1 3後				1 2 1 2 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	兼0
小計 (42科目)			59	0	0	5	8	7	10	2	兼1
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必	選	自	教	准	講	助	助	
統合分野	研究	看護研究の基礎 英語論文のクリティカル 卒業研究	3前 3後 4通			1 8 8	2 10 10	6 6 6	11 11 11	2 2 2	
	看護マネジメント	災害看護学 医療安全学 看護管理学 国際看護学Ⅰ 国際看護学Ⅱ チーム医療論 看護政策論 看護学統合演習 看護学統合実習	2後 3前 3前 3前 4前 4前 4後 4前 4前	1 1 1 2 1 1 1 1 2		1 1 1 1 1 1 1 5 5	1 1 1 1 1 1 1 8 8	1 1 1 1 1 1 1 6 6	1 1 1 1 1 1 1 11 11	2 2 2 2 2 2 2 2 2	
統合分野	キャリア開発	看護職とキャリア形成 NP論 キャリア開発実習： クリティカルケア キャリア開発実習： がん看護 キャリア開発実習： 認知症患者のケア キャリア開発実習： 重症心身障害者のケア キャリア開発実習： マタニティケア キャリア開発実習： 精神疾患患者のケア キャリア開発実習： 地域保健行政・在宅 ケア キャリア開発実習： 国際感染症患者のケ ア	4後 4後 4前 4前 4前 4前 4前 4前 4前 4前 4前 4前 4前 4前 4前 4前 4前 4前 4前	1 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2		1 1 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5 5	1 1 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	1 1 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6 6	11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	
小計 (22科目)			14	20	0	8	10	7	10	2	兼0
合計 (104科目)			116	33	0	8	10	7	10	2	34

「基礎分野」については 14 単位、「専門基礎分野」については 29 単位、「専門分野」については 59 単位、「統合分野」については 14 単位、上記 4 分野からの選択科目 8 単位の合計 124 単位以上とする。(履修科目の登録の上限:45単位(年間))

専門分野	臨床実践看護学	成人看護学概論 急性期看護論 慢性期看護論 終末期看護論 成人看護実践論 成人看護の探求 急性期看護学実習 慢性期看護学実習 終末期看護学実習 老年看護学概論 老年看護実践論 家族看護学 老年生活支援実習 老年看護学実習 母性看護学概論 母性看護実践論 母性看護学実習 小児看護学概論 小児看護実践論 小児看護学実習 精神看護学概論 精神看護実践論 精神看護学実習 臨床コミュニケーション 障害者看護論	1後 3前 2前 3前 3前 3後 3後 3後 3後 1後 2前 2後 2後 3後 2後 2前 2後 3前 2後 3前 2後 2後 3前 3後 2前 3後	1 1 1 1 1 1 2 2 2 1 2 1 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 1 3後				1 1	1 1 1 1 2 1	1 2 1 1 1 2 3 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	兼0
小計 (38科目)			54	0	0	4	6	9	8	4	兼0
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担
			必	選	自	教	准	講	助	助	
統合分野	在宅看護学	在宅看護学概論 在宅看護実践Ⅰ (在宅における看護技術と危機管理) 在宅看護実践Ⅱ (地域におけるケアシステムと連携) 在宅看護学実習	3前 3後 4前 4前	2 1 1 2		1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	1 1 1 1	兼1 兼1
	地域看護学	地域看護学概論 自立支援教育論 疾病予防看護学	2後 2後 2後	1 1 1		1 1 1	1 1 1	1 1 1	1 1 1	1 1 1	
統合分野	研究	看護研究の基礎 英語論文のクリティカル 卒業研究	3前 3後 4通	1 1 3		1 8 8	2 8 8	11 8 11	8 8 8	4 4 4	
	看護マネジメント	看護管理学 医療安全学 災害看護学 看護学統合実習	3前 3前 2後 4前	1 1 1 3		1 1 1 6	1 1 1 6	1 1 1 11	1 1 1 8	1 1 1 4	
統合分野	キャリア開発	国際看護学Ⅰ 国際看護学Ⅱ チーム医療論 看護職とキャリア形成 NP論 看護政策論	2後 3前 4前 4後 4後 4後	1 2 1 1 1 1		1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1	
小計 (20科目)			23	4	0	8	9	11	8	4	兼1
合計 (101科目)			123	17	0	8	9	11	8	4	34
卒業要件及び履修方法											
「基礎分野」については16単位、「専門基礎分野」については30単位、「専門分野」については54単位、「統合分野」については23単位、上記4分野からの選択科目6単位の合計129単位以上とする。(履修科目の登録の上限:45単位(年間))											

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年	単位数			専任教員等の配置							兼任・兼任
			必修	選択	自由	教	准	助	助	助	助	助	
基礎分野	人間関係論	1前	1										兼1
	心理学	1前	1										兼1
	哲学	1前		1									兼1
	倫理学	1前		1									兼1
	社会学	1前		1									兼1
	文化人類学	1前		1									兼1
	法学	1後		1									兼1
	論理学	1前	2										兼1
	自然科学の基礎	1前	1			1	1						兼1
	スポーツ科学	1後		2									兼1
	社会保障制度概論	2前		1									兼1
	ボランティア論	2後		1			1						兼2
	統計学	2前	2										兼1
	情報リテラシー	1前	1										兼1
	教育学	2前	2										兼1
	実用英語Ⅰ	1前	2										兼3
	実用英語Ⅱ	1後	2										兼3
	実用英語Ⅲ	2前	2										兼3
専門基礎分野	中国語	1前		1									兼1
	スペイン語	1前		1									兼1
	小計(20科目)	-	16	11	0	1	1	0	0	0	0	0	兼17
	医療と法(看護関係法)	2前	1										兼1
	医学概論	1前	1										兼1
	解剖生理学Ⅰ	1前	2										兼1
	解剖生理学Ⅱ	1前	2										兼1
	病理学	1後	2										兼1
	生化学	1後	1										兼1
	微生物学	1前	1										兼1
	薬理学	1後	1										兼1
	疾病と治療Ⅰ(呼吸器系)	1後	2										兼2
	疾病と治療Ⅱ(血液系・循環器系)	1後	2										兼2
	疾病と治療Ⅲ(神経系・精神科)	2前	2										兼2
	疾病と治療Ⅳ(泌尿器系)	2前	2				2						兼1
	疾病と治療Ⅴ(感覚器系)	2後	2										兼1
	疾病と治療Ⅵ(精神科)	2後	1										兼1
基礎看護学	臨床検査学演習	2前	1			1	1		1				兼1
	臨床栄養学演習	2後	1										兼1
	臨床薬理学演習	2後	1				1						兼1
	公衆衛生学	2前	2						1				兼1
	人間工学	2前		1									兼1
	医療・看護情報学の基礎	2前	1										兼1
	実用医療英語	2後	1										兼1
	政策医療論	2後	1			1							兼1
	保健医療福祉システム論	2後		1			1						兼1
	小計(23科目)	-	30	2	0	2	4	0	1	0	0	0	兼21
基礎看護技術学	看護学概論	1前	1			1							兼1
	看護倫理	1後	1				1						兼1
	看護理論	2後	1				1						兼1
	看護教育学	4後	1			1							兼1
	看護学体験実習	1前	1			1	1	1	8	7			兼1
	看護実践技術Ⅰ(日常生活における援助技術)	1前	2			1	1	1	1	3			兼1
	看護実践技術Ⅱ(治療・処置における援助技術)	1後	1			1	1	1	1	3			兼1
	看護実践技術Ⅲ(看護技術の統合)	1後	1			1	1	1	1	3			兼1
	ヘルスアセスメント	1前	1			1	1	1	1	3			兼1
	フィジカルアセスメント	1後	1			1	1	2	1	3			兼1
	看護過程と看護方法論	1後	1			1	1	1	1	3			兼1
	日常生活援助展開実習	1後	1			1	1	3	8	7			兼1
	看護過程展開実習	2前	2			1		1	8	7			兼1
	看護学概論(未開講)	1前	1										兼1
	看護倫理(未開講)	1後	1										兼1
	看護理論(未開講)	2後	1										兼1
	看護教育学(未開講)	4後	1										兼1
	看護学体験実習(未開講)	1前	1				1	1	1	2			兼1

【令和7年度】(旧)

科目区分	授業科目の名称	配当年	単位数			専任教員等の配置							兼任・兼任
			必修	選択	自由	教	准	助	助	助	助	助	
基礎分野	人間関係論(未開講)	1前	1										兼1
	心理学(未開講)	1前	1										兼1
	哲学(未開講)	1前		1									兼1
	倫理学(未開講)	1前		1									兼1
	社会学(未開講)	1前		1									兼1
	文化人類学(未開講)	1前		1									兼1
	法学(未開講)	1後		1									兼1
	論理学(未開講)	1前	2										兼1
	自然科学の基礎(未開講)	1前	1			1	1			1			兼1
	スポーツ科学(未開講)	1後		2									兼1
	社会保障制度概論(未開講)	2前		1									兼1
	ボランティア論(未開講)	2後		1						1			兼1
	統計学(未開講)	2前	2							1	1		兼1
	情報リテラシー(未開講)	1前	1										兼1
	教育学(未開講)	2前	2										兼1
	実用英語Ⅰ(未開講)	1前	2										兼4
	実用英語Ⅱ(未開講)	1後	2										兼4
	実用英語Ⅲ(未開講)	2前	2										兼4
専門基礎分野	中国語(未開講)	1前		1									兼1
	スペイン語(未開講)	1前		1									兼1
	小計(20科目)	-	16	9	2	1	3	0	2	0	0	0	兼18
	医療と法(看護関係法)	2前	1										兼1
	医学概論(未開講)	1前	1										兼1
	解剖生理学Ⅰ(未開講)	1前	2							1			兼1
	解剖生理学Ⅱ(未開講)	1前	2							2	1		兼1
	病理学(未開講)	1後	2										兼1
	生化学(未開講)	1後	1										兼1
	微生物学(未開講)	1前	1										兼1
	薬理学(未開講)	1後	1										兼1
	疾病と治療Ⅰ(呼吸器系)	1後	2										兼2
	疾病と治療Ⅱ(血液系・循環器系)	1後	2										兼2
	疾病と治療Ⅲ(神経系・精神科)	2前	2										兼2
	疾病と治療Ⅳ(泌尿器系)	2前	2							1	1		兼1
	疾病と治療Ⅴ(感覚器系)	2後	2										兼1
	疾病と治療Ⅵ(精神科)	2後	1										兼1
基礎看護学	臨床検査学演習(未開講)	2前	1							1	1	1	兼1
	臨床栄養学演習(未開講)	2後	1										兼1
	臨床薬理学演習(未開講)	2後	1								1		兼1
	公衆衛生学(未開講)	2前	2							1			兼1
	人間工学(未開講)	2前		1									兼1
	医療・看護情報学の基礎	2前	1							1	1		兼1
	実用医療英語(未開講)	2後	1										兼2
	政策医療論(未開講)	2後	1							1	1		兼1
	保健医療福祉システム論	2後		1									兼1
	小計(23科目)	-	30	2	0	2	4	1	1	0	0	0	兼19
基礎看護技術学	看護学概論(未開講)	1前	1							1	1	2	兼1
	看護倫理(未開講)	1後	1							1	2	1	兼1
	看護理論(未開講)	2後	1							1	1		兼1
	看護教育学(未開講)	4後	1							1			兼1
	看護学体験実習(未開講)	1前	1							1	1	2	兼1
	看護実践技術Ⅰ(日常生活における援助技術)	1前	2							1	1	2	兼1
	看護実践技術Ⅱ(治療・処置における援助技術)	1後	1							1	1	2	兼1
	看護実践技術Ⅲ(看護技術の統合)	1後	1							1	1	2	兼1
	ヘルスアセスメント(未開講)	1前	1							1	1	2	兼1
	フィジカルアセスメント	1後	1							1	1	1	兼1
	看護過程と看護方法論	1後	1							1	1	2	兼1
	日常生活援助展開実習	1後	1							1	1	2	兼1
	看護過程展開実習(未開講)	2前	2							1	1	2	兼1
	看護学概論(未開講)	1前	1										兼1
	看護倫理(未開講)	1後	1										兼1
	看護理論(未開講)	2後	1										兼1
	看護教育学(未開講)	4後	1										兼1
	看護学体験実習(未開講)	1前	1							1	1	2	兼1

【令和6年度】（旧）

科目区分	授業科目の名称	配当年	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼務
			必修	選択	自由	教	助	助	助	助	助	
基礎分野	人間関係論	1前	1									兼1
	心理学	1前	1									兼1
	哲学	1前		1								兼1
	倫理学	1前		1								兼1
	社会学	1前		1								兼1
	文化人類学	1前		1								兼1
	法学	1後		1								兼1
	論理学	1前	2									兼1
	自然科学の基礎	1前	1			1		1	1			
	スポーツ科学	1後			2							兼1
	社会保障制度概論	2前		1								兼1
	ボランティア論	2後		1				1				
	統計学	2前	2					1				
	情報リテラシー	1前	1									兼1
	教育学	2前	2									兼1
	実用英語Ⅰ	1前	2									兼4
	実用英語Ⅱ	1後	2									兼4
	実用英語Ⅲ	2前	2									兼4
専門基礎分野	中国語	1前		1								兼1
	スペイン語	1前		1								兼1
	小計（20科目）	-	16	9	2	1	2	1	0	0		兼18
	医療と法（看護関係法規）	2前	1									兼1
	医学概論	1前	1									兼1
	解剖生理学Ⅰ	1前	2			1		1				
	解剖生理学Ⅱ	1前	2			1		1				
	病理学	1後	2									兼1
	生化学	1後	1									兼1
	微生物学	1前	1									兼1
	薬理学	1後	1									兼1
	疾病と治療Ⅰ（呼吸器系・	1後	2									兼2
	疾病と治療Ⅱ（血液系・循	1後	2									兼2
	疾病と治療Ⅲ（神経系・骨	2前	2									兼2
	疾病と治療Ⅳ（泌尿器系・	2前	2					2				
	疾病と治療Ⅴ（感覚器系・	2後	2									兼1
	疾病と治療Ⅵ（精神系）	2後	1									兼1
	臨床検査学演習	2前	1			2		1		1		
	臨床栄養学演習	2後	1									兼1
	臨床薬理学演習	2後	1					1				
	公衆衛生学	2前	2			1		1	1			
	人間工学	2前		1								兼1
	医療・看護情報学の基礎	2前	1					1				
	実用医療英語	2後	1			1						
	政策医療論	2後	1					1				
	保健医療福祉システム論	2後		1								兼1
	小計（23科目）	-	30	2	0	2	4	1	1	0		兼18
科目区分	授業科目の名称	配当年	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼務
			必修	選択	自由	教	助	助	助	助	助	
基礎看護学	看護学概論	1前	1			1						
	看護倫理	1後	1			1						
	看護理論	2後	1					1				
	看護教育学	4後	1			1						
	看護学体験実習	1前	1			1	1	1		4		
	看護実践技術Ⅰ（日常生活における援助技術）	1前	2			1	1	1	1	2		
	看護実践技術Ⅱ（治療・処置における援助技術）	1後	1			1	1	1	1	2		
	看護実践技術Ⅲ（看護技術の統合）	1後	1			1	1	1	1	2		
	ヘルスアセスメント	1前	1			1	1	1	1	2		
	フィジカルアセスメント	1後	1				2	1	1	2		
基礎看護技術学	看護過程と看護方法論	1後	1			1	1	1	1	2		
	日常生活援助展開実習	1後	1			1	1	2	8	6		
	看護過程展開実習	2前	2			1	1	1	6	3		
	看護学概論	1前	1			1						
	看護倫理	1後	1					1				
	看護理論	2後	1						1			
基礎看護学	看護教育学	4後	1					1				
	看護学体験実習	1前	1			1	1	1	1	4		
	看護実践技術Ⅰ（日常生活における援助技術）	1前	2			1	1	1	1	2		
	看護実践技術Ⅱ（治療・処置における援助技術）	1後	1			1	1	1	1	2		
	看護実践技術Ⅲ（看護技術の統合）	1後	1			1	1	1	1	2		
	ヘルスアセスメント	1前	1			1	1	1	1	2		
	フィジカルアセスメント	1後	1				2	1	1	2		
	看護過程と看護方法論	1後	1			1	1	1	1	2		
	日常生活援助展開実習	1後	1			1	1	2	8	6		
	看護過程展開実習	2前	2			1	1	1	6	3		

【令和5年度】（旧）

科目区分	授業科目の名称	配当年	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼務
			必修	選択	自由	教	助	助	助	助	助	
基礎分野	人間関係論	1前	1									兼1
	心理学	1前	1									兼1
	哲学	1前		1								兼1
	倫理学	1前		1								兼1
	社会学	1前		1								兼1
	文化人類学	1前		1								兼1
	法学	1後		1								兼1
	論理学	1前	2									兼1
	自然科学の基礎	1前	1					1	1	1		
	スポーツ科学	1後			2							兼1
	社会保障制度概論	2前		1								兼1
	ボランティア論	2後		1				1				
	統計学	2前	2					1				
	情報リテラシー	1前	1									兼1
	教育学	2前	2									兼1
	実用英語Ⅰ	1前	2									兼4
	実用英語Ⅱ	1後	2									兼4
	実用英語Ⅲ	2前	2									兼4
専門基礎分野	中国語	1前		1								兼1
	スペイン語	1前		1								兼1
	小計（20科目）	-	16	9	2	1	2	1	0	0		兼18
	医療と法（看護関係法規）	2前	1									兼1
	医学概論	1前	1									兼1
	解剖生理学Ⅰ	1前	2					1	1			
	解剖生理学Ⅱ	1前	2					1	1			
	病理学	1後	2									兼1
	生化学	1後	1									兼1
	微生物学	1前	1									兼1
	薬理学	1後	1									兼1
	疾病と治療Ⅰ（呼吸器系・	1後	2									兼2
	疾病と治療Ⅱ（血液系・循	1後	2									兼2
	疾病と治療Ⅲ（神経系・骨	2前	2									兼2
	疾病と治療Ⅳ（泌尿器系・	2前	2						2			
	疾病と治療Ⅴ（感覚器系・	2後	2									兼1
	疾病と治療Ⅵ（精神系）	2後	1									兼1
	臨床検査学演習	2前	1					2	1		1	
	臨床栄養学演習	2後	1									兼1
	臨床薬理学演習	2後	1						1			
	公衆衛生学	2前	2					1	1	1		
	人間工学	2前		1								兼1
	医療・看護情報学の基礎	2前	1						1			
	実用医療英語	2後	1					1				
	政策医療論	2後	1						1			
	保健医療福祉システム論	2後		1								兼1
	小計（23科目）	-	30	2	0	2	4	1	1	0		兼18
科目区分	授業科目の名称	配当年	単位数			専任教員等の配置						兼任・兼務
			必修	選択	自由	教	助	助	助	助	助	
基礎看護学	看護学概論	1前	1			1						
	看護倫理	1後	1					1				
	看護理論	2後	1						1			
	看護教育学	4後	1					1				
	看護学体験実習	1前	1			1	1	1	1	4		
	看護実践技術Ⅰ（日常生活における援助技術）	1前	2			1	1	1	1	2		
	看護実践技術Ⅱ（治療・処置における援助技術）	1後	1			1	1	1	1	2		
	看護実践技術Ⅲ（看護技術の統合）	1後	1			1	1	1	1	2		
	ヘルスアセスメント	1前	1			1	1	1	1	2		
	フィジカルアセスメント	1後	1				2	1	1	2		
基礎看護技術学	看護過程と看護方法論	1後	1			1	1	1	1	2		
	日常生活援助展開実習	1後	1			1	1	2	8	6		
	看護過程展開実習	2前	2			1	1	1	6	3		
	看護学概論	1前	1			1						
	看護倫理	1後	1					1				
	看護理論	2後	1						1			
基礎看護学	看護教育学	4後	1					1				
	看護学体験実習	1前	1			1	1	1	1	4		
	看護実践技術Ⅰ（日常生活における援助技術）	1前	2			1	1	1	1	2		
	看護実践技術Ⅱ（治療・処置における援助技術）	1後	1			1	1	1	1	2		
	看護実践技術Ⅲ（看護技術の統合）	1後	1			1	1	1	1	2		
	ヘルスアセスメント	1前	1			1	1	1	1	2		
	フィジカルアセスメント	1後	1				2	1	1	2		
	看護過程と看護方法論	1後	1			1	1	1	1	2		
	日常生活援助展開実習	1後	1			1	1	2	8	6		
	看護過程展開実習	2前	2			1	1	1	6	3		

【令和4年度】（旧）

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年	単位数				専任教員等の配置						備 考
			1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	
基礎 分野	人間関係論	1前	1										兼1
	心理学	1前	1										兼1
	哲学	1前	1										兼1
	倫理学	1前	1										兼1
	社会学	1前	1										兼1
	文化人類学	1前	1										兼1
	法学	1後	1										兼1
	論理学	1前	2										兼1
	自然科学の基礎	1前	1			2	1	1					兼1
	スポーツ科学	1後	2										兼1
	社会保障制度概論	2前	1										兼1
	ボランティア論	2後	1				1						
	統計学	2前	2				1						兼1
	情報リテラシー	1前	1										兼1
	教育学	2前	2										兼1
	実用英語Ⅰ	1前	2										兼4
専門 基礎 分野	実用英語Ⅱ	1後	2										兼4
	実用英語Ⅲ	2前	2										兼4
	中国語	1前	1										兼1
	スペイン語	1前	1										兼1
	小計（20科目）	—	16	11	0	2	2	1	0	0			兼18
	医療と法（看護関係法規）	2前	1										兼1
	医学概論	1前	1										兼1
	解剖生理学Ⅰ	1前	2			1	1						
	解剖生理学Ⅱ	1前	2			1	1						
	病理学	1後	2										兼1
	生化学	1後	1										兼1
	微生物学	1前	1										兼1
	薬理学	1後	1										兼1
	疾病と治療Ⅰ（呼吸器系・	1後	2										兼2
	疾病と治療Ⅱ（血液系・病	1後	2										兼2
	疾病と治療Ⅲ（神経系・骨	2前	2										兼2
	疾病と治療Ⅳ（泌尿器系・	2前	2				2						
	疾病と治療Ⅴ（感覚器系・	2後	2										兼1
	疾病と治療Ⅵ（精神系）	2後	1										兼1
	臨床検査学演習	2前	1			2	1	1	1				
	臨床栄養学演習	2後	1										兼1
	臨床薬理学演習	2後	1				1						
	公衆衛生学	2前	2			1	1	1					
	人間工学	2前	1										兼1
	医療・看護情報学の基礎	2前	1				1						
	実用医療英語	2後	1			1							
	政策医療論	2後	1			1							
	保健医療福祉システム論	2後	1										兼1
	小計（23科目）	—	30	2	0	3	4	1	1	0			兼18
科目 区分	授業科目の名称	配 当 年	単位数				専任教員等の配置						備 考
			1	2	3	4	1	2	3	4	5	6	
専門 分野	看護学概論	1前	1			1							
	看護倫理	1後	1			1							
	看護理論	2後	1					1					
	看護教育学	4後	1			1							
	看護学体験実習	1前	1			1	1	3	6	4			
	看護実習Ⅰ（基礎看護学）	1前	2			1	1	1	1	2			
	看護実習Ⅱ（基礎看護学）	1後	1			1	1	1	1	2			
	看護実習Ⅲ（基礎看護学）	1後	1			1	1	1	1	2			
	ヘルスアセスメント	1前	1			1	1	1	1	2			
	フィジカルアセスメント	1後	1				2	1	1	2			
	看護過程と看護方法論	1後	1			1	1	1	1	2			
	日常生活援助展開実習	1後	1			1	1	5	8	4			
	看護過程展開実習	2前	2			1	1	3	6	4			
	成人看護学概論	1後	1			1	1	1					
	急性期看護論	3前	1			1	2	1					
	慢性期看護論	2前	1			1		1					
	終末期看護論	3前	1			1							
	成人看護実践論	3前	1			1	2	1	2				
	成人看護の探求	3後	1			1	2	1					
	急性期看護学実習	3後	2					1					
	慢性期看護学実習	3後	2			1			1				
	終末期看護学実習	3後	2			1							
	老年看護学概論	1後	1			1			1				
	老年看護実践論	2前	2			1	2	1	3				
	家族看護学	2後	1			1							
	老年生活支援実習	2後	2					2		1			
	老年看護学実習	3後	2			1			1				
	母性看護学概論	2後	2			2			1				
	母性看護実践論	3前	2			1	1	1	1				
	母性看護学実習	3後	2			1	1	1	1				
	小児看護学概論	2後	2			1	1		1				
	小児看護実践論	3前	2			1	1		1				
	小児看護学実習	3後	2			1	1		1				
	精神看護学概論	2後	1			1		1	1				
	精神看護実践論	3前	2			1		1	1				
	精神看護学実習	3後	2			1		1	1				
	臨床コミュニケーション	2前	1			1		1	1				
	障害者看護論	3後	1			1		1	1				
	小計（38科目）	—	54	0	0	4	6	9	8	4			兼0

統合分野	在宅看護学	在宅看護学概論Ⅰ (在宅における看護概論と応用)	3前	2				1	1	1		兼1
		在宅看護学実践Ⅰ	3後	1				1	1	1		兼1
		在宅看護学実践Ⅱ	4前	1				1	1	1		兼1
		在宅看護学実習	4前	2				1	1	1		兼1
	地域看護学	地域看護学概論	2後	1				1	1	1		兼1
		自立支援教育論	2後	1				1	1	1		
		疾病予防看護学	2後	1				1	1	1		
	研究	看護研究の基礎	3前	1			1	2				
		英語論文のクリティカル 卒業研究	3後 4通	1 3			8 8	10 10	6 6	11 11	2 2	
		看護管理学	3前	1			1					
		医療安全学 災害看護学 看護学統合実習	3前 2後 4前	1 1 3			1 1 6			6 8	11 11	2 2
	キャリア開発	国際看護学Ⅰ	2後	1				1				
		国際看護学Ⅱ	3前		2		1					
		チーム医療論	4前	1			1					
		看護職とキャリア形成 NP論	4後 4後	1 1				1 1		1 1		
		看護政策論	4後	1			1					
		小計(20科目)			-	23	4	0	8	9	11	8
合計(101科目)			-	123	17	0	8	9	11	8	4	34
卒業要件及び履修方法												
「基礎分野」については16単位、「専門基礎分野」については30単位、「専門分野」については54単位、「統合分野」については23単位、上記4分野からの選択科目6単位の合計129単位以上とする。(履修科目の登録の上限:45単位(年間))												

(注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
- ・「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
- ・1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
- ・不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- ・専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
- ・指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。

その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。

新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。

(例:記載順)【認可時又は届出時】→【令和7年度】(新)→【令和6年度】(新)→【令和5年度】→【令和4年度】→【令和7年度】(旧)→【令和6年度】(旧)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

- ・「自然科学の基礎」の「兼任・兼任1」を「兼任・兼任0」に変更。
- ・「実用英語Ⅰ」、「実用英語Ⅱ」、「実用英語Ⅲ」の「兼任・兼任4」を「兼任・兼任3」に変更。
- ・「疾病と治療Ⅳ（泌尿器系・生殖器系・内分泌系）」の「教授1」を「教授0」に変更。
- ・「臨床検査学演習」の「教授3」を「教授1」に変更。
- ・「公衆衛生学」の「教授1」を「教授0」に変更。
- ・「実用医療英語」の「教授2」を「教授0」、「兼任・兼任0」を「兼任・兼任1」に変更。
- ・「看護学体験実習」の「准教授0」を「准教授1」、「助教10」を「助教8」に変更。
- ・「看護実践技術論Ⅰ（日常生活における援助技術と判断）」、「看護実践技術論Ⅱ（治療・処置における援助技術と判断）」、「看護実践技術論Ⅲ（看護技術の統合）」、「ヘルスアセスメント」、「看護過程と看護方法論」の「准教授0」を「准教授1」、「助教0」を「助教1」に変更。
- ・「フィジカルアセスメント」の「教授1」を「教授0」、「准教授0」を「准教授1」、「助教0」を「助教1」に変更。
- ・「日常生活援助展開実習」の「准教授0」を「准教授1」、「講師1」を「講師3」、「助教10」を「助教8」に変更。
- ・「看護過程展開実習」の「助教10」を「助教8」に変更。
- ・「成人看護学概論」、「急性期看護論」の「教授0」を「教授1」、「准教授2」を「准教授1」に変更。
- ・「終末期看護論」の「教授0」を「教授1」、「准教授1」を「准教授0」に変更。
- ・「成人看護実践論」、「成人看護の探求」の「教授0」を「教授1」、「准教授2」を「准教授1」に変更。
- ・「終末期看護学実習」、「老年看護学概論」の「教授0」を「教授1」、「准教授1」を「准教授0」に変更。
- ・「老年看護実践論」の「教授0」を「教授1」、「准教授2」を「准教授1」に変更。
- ・「母性看護学概論」の「教授1」を「教授0」に変更。
- ・「母性看護実践論」、「母性看護学実習」の「助教2」を「助教1」に変更。
- ・「在宅看護学概論」の「講師1」を「講師0」に変更。
- ・「在宅看護実践論Ⅰ（在宅における看護技術と危機管理）」の「助教2」を「助教1」に変更。
- ・「在宅看護実践論Ⅱ（地域におけるケアシステムと連携）」、「在宅看護学実習」の「講師1」を「講師0」に変更。
- ・「地域看護学概論」の「講師0」を「講師1」、「助教2」を「助教1」に変更。
- ・「自立支援教育論」、「疾病予防看護学」の「助教2」を「助教1」に変更。
- ・「看護研究の基礎」の「教授3」を「教授1」に変更。
- ・「英語論文のクリティーク」の「教授8」を「教授6」、「准教授8」を「准教授7」、「助教10」を「助教7」に変更。
- ・「卒業研究」の「教授8」を「教授6」、「助教10」を「助教7」、「兼任・兼任1」を「兼任・兼任0」に変更。
- ・「災害看護学」の「助教2」を「助教1」に変更。
- ・「看護学統合実習」の「教授4」を「教授5」、「講師7」を「講師4」、「助教10」を「助教7」に変更。
- ・「NP論」、「看護政策論」の「兼任・兼任1」を「兼任・兼任0」に変更。

【令和3年度】

- ・「自然科学の基礎」の「教授1」を「教授2」、「講師0」を「講師1」、「兼任・兼任1」を「兼任・兼任0」に変更。
- ・「統計学」の「准教授0」を「准教授1」、「兼任・兼任1」を「兼任・兼任0」に変更。
- ・「実用英語Ⅰ」、「実用英語Ⅱ」、「実用英語Ⅲ」の「兼任・兼任4」を「兼任・兼任1」に変更。
- ・「解剖生理学Ⅰ」「解剖生理学Ⅱ」の「教授0」を「教授1」、「准教授0」を「准教授1」、「兼任・兼任1」を「兼任・兼任0」に変更。
- ・「臨床検査学演習」の「教授3」を「教授2」、「講師0」を「講師1」に変更。
- ・「公衆衛生学」の「准教授0」を「准教授1」、「講師0」を「講師1」、「助教1」を「助教0」に変更。
- ・「医療・看護情報学の基礎」の「准教授0」を「准教授1」、「兼任・兼任1」を「兼任・兼任0」に変更。
- ・「実用医療英語」の「教授2」を「教授1」に変更。
- ・「保健医療福祉システム論」の「准教授1」を「准教授0」に変更。
- ・「看護倫理」の「教授0」を「教授1」、「准教授1」を「准教授0」に変更。
- ・「看護理論」の「准教授1」を「准教授0」、「講師0」を「講師1」に変更。
- ・「看護学体験実習」の「准教授0」を「准教授1」、「講師1」を「講師3」、「助教10」を「助教6」、「助手7」を「助手4」に変更。
- ・「看護実践技術論Ⅰ（日常生活における援助技術と判断）」、「看護実践技術論Ⅱ（治療・処置における援助技術と判断）」、「看護実践技術論Ⅲ（看護技術の統合）」、「ヘルスアセスメント」、「看護過程と看護方法論」の「准教授0」を「准教授1」、「助教0」を「助教1」、「助手3」を「助手2」に変更。
- ・「フィジカルアセスメント」の「教授1」を「教授0」、「准教授0」を「准教授2」、「講師2」を「講師1」、「助教0」を「助教1」、「助手3」を「助手2」に変更。
- ・「日常生活援助展開実習」の「准教授0」を「准教授1」、「講師1」を「講師5」、「助教10」を「助教8」、「助手7」を「助手4」に変更。
- ・「看護過程展開実習」の「准教授0」を「准教授1」、「講師1」を「講師3」、「助教10」を「助教6」、「助手7」を「助手4」に変更。
- ・「成人看護学概論」、「急性期看護論」の「教授0」を「教授1」、「准教授2」を「准教授1」に変更。
- ・「慢性期看護論」の「講師0」を「講師1」に変更。
- ・「終末期看護論」の「教授0」を「教授1」、「准教授1」を「准教授0」に変更。
- ・「成人看護実践論」、「成人看護の探求」の「教授0」を「教授1」、「准教授2」を「准教授1」に変更。
- ・「終末期看護学実習」の「教授0」を「教授1」、「准教授1」を「准教授0」に変更。
- ・「老年看護学概論」の「教授0」を「教授1」、「准教授1」を「准教授0」、「講師1」を「講師2」に変更。
- ・「老年看護実践論」の「教授0」を「教授1」、「准教授2」を「准教授1」、「講師2」を「講師3」に変更。
- ・「老年生活支援実習」の「講師1」を「講師2」、「助手2」を「助手1」に変更。
- ・「母性看護学概論」の「教授1」を「教授0」、「助教0」を「助教1」に変更。
- ・「母性看護実践論」、「母性看護学実習」の「講師0」を「講師1」、「助教2」を「助教1」に変更。
- ・「在宅看護学概論」の「教授0」を「教授1」、「講師1」を「講師0」に変更。
- ・「在宅看護実践論Ⅰ（在宅における看護技術と危機管理）」、「在宅看護実践論Ⅱ（地域におけるケアシステムと連携）」の「教授0」を「教授1」、「助教2」を「助教1」に変更。
- ・「在宅看護学実習」の「教授0」を「教授1」、「助教2」を「助教1」に変更。
- ・「地域看護学概論」の「教授0」を「教授1」、「講師0」を「講師1」、「助教2」を「助教1」に変更。
- ・「自立支援教育論」、「疾病予防看護学」の「助教2」を「助教1」に変更。
- ・「疾病予防看護学」の「助教2」を「助教1」に変更。
- ・「看護研究の基礎」の「教授3」を「教授1」に変更。
- ・「英語論文のクリティーク」の「講師1」を「講師11」、「助教10」を「助教8」、「助手7」を「助手4」に変更。
- ・「卒業研究」の「講師7」を「講師11」、「助教10」を「助教8」、「助手7」を「助手4」、「兼任・兼任1」を「兼任・兼任0」に変更。
- ・「災害看護学」の「助教2」を「助教1」に変更。
- ・「看護学統合実習」の「教授4」を「教授6」、「講師7」を「講師11」、「助教10」を「助教8」、「助手0」を「助手4」に変更。
- ・「国際看護学Ⅰ」の「教授1」を「教授0」に変更。
- ・「NP論」の「准教授0」を「准教授1」、「兼任・兼任1」を「兼任・兼任0」に変更。
- ・「看護政策論」の「兼任・兼任1」を「兼任・兼任0」に変更。

【令和４年度】

指定規則の一部改正に伴い、下記のとおり、科目の追加及び削除等を行った。

・「カウンセリングの基礎」、「看護学統合演習」、「キャリア開発実習：クリティカルケア」、「キャリア開発実習：がん看護」、「キャリア開発実習：認知症患者のケア」、「キャリア開発実習：重症心身障害者のケア」、「キャリア開発実習：マタニティケア」、「キャリア開発実習：精神疾患患者のケア」、「キャリア開発実習：地域保健行政・在宅ケア」、「キャリア開発実習：国際感染症患者のケア」を新たに設置。

・「生化学」、「臨床薬理学演習」、「社会保障制度概論」、「老年生活支援実習」、「老年看護学実習」を削除。

- ・「疾病予防看護論」→「疾病予防看護学」に名称変更。
- ・「栄養学」→「臨床栄養学演習」に名称変更。
- ・「看護情報学・統計学演習」→「統計学」、「医療・看護情報の基礎」に名称変更し2科目に分けた。
- ・「在宅看護実践論」→「在宅看護実践論Ⅰ」、「在宅看護実践論Ⅱ」に名称変更し2科目に分けた。
- ・「慢性期看護学実習」の単位数を2単位→3単位に変更。
- ・「法学」の単位数を1単位→2単位に変更。
- ・「薬理学」の単位数を1単位→2単位に変更。
- ・「慢性期看護学実習」の単位数を2単位→3単位に変更。
- ・「疾病と治療Ⅴ（感覚器系・統合）」の単位数を2単位→1単位に変更。
- ・「看護学統合実習」の単位数を3単位→2単位に変更。
- ・「医療と法（看護関係法規）」の配当年次を2後→2前に変更。
- ・「公衆衛生学」の配当年次を2後→2前に変更。
- ・「フィジカルアセスメント」の配当年次を1後→2後に変更。
- ・「保健医療福祉システム論」の配当年次を2後(選択)→2前(必修)に変更。
- ・「地域看護学概論」の配当年次を2後→1前に変更。
- ・「自立支援教育論」の配当年次を2後→1後に変更。
- ・「疾病予防看護論」の配当年次を2後→2前に変更。
- ・「在宅看護学概論」の配当年次を3後→3前に変更。
- ・「慢性期看護学実習」の配当年次を2後→2後に変更。
- ・「在宅看護学実習」の配当年次を4前→3後に変更。
- ・「成人看護の探求」の配当年次を3後→4後に変更。
- ・「ボランティア論」の区分を「基礎分野」→「専門基礎分野」に変更。
- ・「臨床検査学演習」の「講師1」を「講師0」に変更。
- ・「公衆衛生学」の「講師1」を「講師0」、「助教0」を「助教1」に変更。
- ・「看護倫理」の「教授1」を「教授0」、「兼任・兼任0」を「兼任・兼任1」に変更。
- ・「看護理論」の「講師1」を「講師0」、「准教授0」を「准教授1」に変更。
- ・「看護学体験実習」の「准教授1」を「准教授2」、「講師3」を「講師1」、「助手4」を「助手2」に変更。

【新カリキュラム】

- ・「看護実践技術Ⅰ（日常生活における援助技術と判断）」、「看護実践技術Ⅱ（治療・処置における援助技術と判断）」、「看護実践技術Ⅲ（看護技術の統合）」、「ヘルスアセスメント」、「看護過程と看護方法論」の「准教授1」を「准教授2」、「講師1」を「講師0」、「助教1」を「助教2」、「助手2」を「助手1」に変更。
- ・「フィジカルアセスメント」の「准教授2」を「准教授3」、「講師1」を「講師0」、「助教1」を「助教2」、「助手2」を「助手1」に変更。
- ・「日常生活援助展開実習」の「准教授1」を「准教授2」、「講師5」を「講師1」、「助教8」を「助教9」、「助手4」を「助手2」に変更。

【旧カリキュラム】

- ・「看護過程展開実習」の「准教授1」を「准教授2」、「講師3」を「講師1」、「助教6」を「助教9」、「助手4」を「助手2」に変更。
- ・「急性期看護論」の「准教授1」を「准教授2」、「講師2」を「講師1」に変更。
- ・「慢性期看護論」の「講師1」を「講師0」、「助教0」を「助教1」に変更。
- ・「成人看護実践論」、「准教授1」を「准教授2」、「講師2」を「講師1」、「助教1」を「助教2」に変更。
- ・「成人看護の探求」の「准教授1」を「准教授2」、「講師2」を「講師1」に変更。
- ・「老年看護学概論」の「准教授0」を「准教授1」、「講師2」を「講師0」、「助教0」を「助教1」に変更。
- ・「老年看護実践論」の「准教授1」を「准教授2」、「講師3」を「講師1」、「助教1」を「助教2」に変更。
- ・「慢性期看護学実習」の「助教0」を「助教1」、「助手1」を「助手0」に変更。
- ・「母性看護学概論」の「教授0」を「教授1」、「准教授2」を「准教授1」に変更。
- ・「小児看護学概論」の「助教1」を「助教0」に変更。
- ・「小児看護実践論」の「助教1」を「助教0」に変更。
- ・「小児看護学実習」の「助教1」を「助教0」に変更。
- ・「在宅看護学概論」の「教授1」を「教授0」、「講師0」を「講師1」、「助教0」を「助教1」、「助手1」を「助手0」、「兼任・兼任0」を「兼任・兼任1」に変更。
- ・「在宅看護学実習」の「教授1」を「教授0」、「助手1」を「助手0」、「兼任・兼任0」を「兼任・兼任1」に変更。
- ・「地域看護学概論」の「教授1」を「教授0」、「兼任・兼任0」を「兼任・兼任1」に変更。
- ・「自立支援教育論」、「疾病予防看護学」の「助教2」を「助教1」に変更。
- ・「英語論文のクリティーク」の「准教授8」を「准教授10」、「講師11」を「講師6」、「助教8」を「助教11」、「助手4」を「助手2」に変更。
- ・「卒業研究」の「准教授9」を「准教授10」、「講師11」を「講師6」、「助教8」を「助教11」、「助手4」を「助手2」に変更。
- ・「看護学統合実習」の「教授6」を「教授5」、「准教授6」を「准教授8」、「講師11」を「講師6」、「助教8」を「助教11」、「助手4」を「助手2」に変更。

【令和5年度】

【新カリキュラム】

- ・「解剖生理学Ⅱ」の「教授1」を「教授2」に変更。
- ・「政策医療論」の「教授1」を「教授0」、「准教授0」を「准教授1」に変更。
- ・「看護倫理」の「兼任1」を「兼任0」、「教授0」を「教授1」、「准教授0」を「准教授3」、「講師0」を「講師1」に変更。
- ・「看護理論」の「助教0」を「助教1」に変更。
- ・「看護学体験実習」の「准教授2」を「准教授1」、「助手2」を「助手1」に変更。
- ・「看護実践技術論Ⅰ」の「准教授2」を「准教授1」、「講師0」を「講師1」、「助教2」を「助教3」に変更。
- ・「看護実践技術論Ⅱ」の「准教授2」を「准教授1」、「講師0」を「講師1」、「助教2」を「助教3」に変更。
- ・「看護実践技術論Ⅲ」の「准教授2」を「准教授1」、「講師0」を「講師1」、「助教2」を「助教3」に変更。
- ・「ヘルスアセスメント」の「准教授2」を「准教授1」、「講師0」を「講師1」、「助教2」を「助教2」に変更。
- ・「フィジカルアセスメント」の「准教授3」を「准教授2」、「講師0」を「講師1」、「助教2」を「助教3」に変更。
- ・「看護過程と看護方法論」の「准教授2」を「准教授1」、「講師0」を「講師1」に変更。
- ・「日常生活支援展開実習」の「准教授2」を「准教授1」、「助教9」を「助教8」、「助手2」を「助手1」に変更。
- ・「老年看護学概論」の「講師0」を「講師1」、「助教1」を「助教0」に変更。
- ・「老年看護実践論」の「助教3」を「助教1」に変更。
- ・「地域看護学概論」の「教授0」を「教授1」に変更。
- ・「看護過程展開実習」の「准教授2」を「准教授1」、「講師1」を「講師2」、「助教9」を「助教8」、「助手2」を「助手1」に変更。
- ・「自立支援教育論」の「教授0」を「教授1」、「准教授1」を「准教授0」に変更。
- ・「疾病予防看護論」の「准教授1」を「准教授0」、「助教1」を「助教2」に変更。
- ・「在宅看護学概論」の「教授0」を「教授1」、「准教授1」を「准教授0」、「講師1」を「講師0」、「助教1」を「助教0」に変更。
- ・「在宅看護実践論」の「准教授1」を「准教授0」、「助教1」を「助教2」に変更。
- ・「看護学統合演習」の「教授5」を「教授6」、「准教授8」を「准教授6」、「講師6」を「講師7」、「助手2」を「助手1」に変更。
- ・「キャリア開発実習：クリティカルケア」の「教授5」を「教授6」、「准教授8」を「准教授6」、「講師6」を「講師7」、「助手2」を「助手1」に変更。
- ・「キャリア開発実習：精神疾患患者のケア」の「教授5」を「教授6」、「准教授8」を「准教授6」、「講師6」を「講師7」、「助手2」を「助手1」に変更。
- ・「キャリア開発実習：地域保健行政・在宅ケア」の「教授5」を「教授6」、「准教授8」を「准教授6」、「講師6」を「講師7」、「助手2」を「助手1」に変更。
- ・「キャリア開発実習：国際感染症患者のケア」の「教授5」を「教授6」、「准教授8」を「准教授6」、「講師6」を「講師7」、「助手2」を「助手1」に変更。

【旧カリキュラム】

- ・「在宅看護学実習」の「教授0」を「教授1」、「准教授1」を「准教授0」、「助教1」を「助教2」に変更。
- ・「急性期看護論」の「講師1」を「講師2」、「助教1」を「助教2」に変更。
- ・「慢性期看護論」の「講師0」を「講師1」に変更。
- ・「成人看護実践論」の「講師1」を「講師2」に変更。
- ・「在宅看護実践論Ⅰ」の「准教授1」を「准教授0」、「助教1」を「助教2」に変更。
- ・「在宅看護実践論Ⅱ」の「准教授1」を「准教授0」、「助教1」を「助教2」に変更。
- ・「成人看護の探求」の「講師1」を「講師2」に変更。
- ・「国際看護学Ⅱ」の「助教0」を「助教1」に変更。
- ・「急性期看護学実習」の「講師1」を「講師2」に変更。
- ・「母性看護実践論」の「教授01」を「教授1」に変更。
- ・「慢性期看護学実習」の「講師0」を「講師1」、「助教1」を「助教2」に変更。
- ・「看護研究の基礎」の「教授1」を「教授2」に変更。
- ・「英語論文のクリテック」の「准教授10」を「准教授7」、「講師6」を「講師7」、「助教11」を「助教12」、「助手2」を「助手1」に変更。
- ・「卒業研究」の「准教授10」を「准教授9」、「講師6」を「講師7」、「助教11」を「助教12」、「助手2」を「助手1」に変更。
- ・「看護教育学」の「助教0」を「助教1」に変更。

【令和6年度】

【新カリキュラム】

- ・「自然科学の基礎」の「教授2」を「教授1」に変更。
- ・「解剖生理学Ⅰ」の「教授1」を「教授0」に変更。
- ・「解剖生理学Ⅱ」の「准教授1」を「准教授0」に変更。
- ・「臨床検査学演習」の「教授2」を「教授1」に変更。
- ・「公衆衛生学」の「教授1」を「教授0」、「助教1」を「助教0」、「准教授1」を「准教授2」に変更。
- ・「看護情報学・統計学演習」の「助教0」を「助教1」
- ・「看護概論」の「助教0」を「助教3」に変更。
- ・「看護倫理」の「准教授3」を「准教授2」、「助教0」を「助教1」に変更。
- ・「看護理論」の「教授0」を「教授1」、「助教0」を「助教1」に変更。
- ・「看護実践技術Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」の「助手1」を「助手0」に変更。
- ・「ヘルスアセスメント」の「教授1」を「教授0」、「助教2」を「助教3」、「助手1」を「助手0」に変更。
- ・「フィジカルアセスメント」の「准教授2」を「准教授1」、「助手1」を「助手0」に変更。
- ・「看護過程と看護方法論」の「助教2」を「助教3」、「助手1」を「助手0」に変更。
- ・「日常生活支援展開実習」の「准教授2」を「准教授1」、「助教9」を「助教8」、「助手2」を「助手1」に変更。
- ・「看護過程展開実習」の「准教授2」を「准教授1」、「講師1」を「講師2」、「助教9」を「助教8」、「助手2」を「助手1」に変更。
- ・「地域看護学概論」の「講師1」を「講師0」、「助教1」を「助教0」に変更。
- ・「自立支援教育論」の「助教2」を「助教0」に変更。
- ・「在宅看護学概論」の「助教0」を「助教1」、「兼1」を「兼0」に変更。
- ・「疾病予防看護論」「在宅看護学実習」「在宅看護実践論」の「兼1」を「兼0」に変更。
- ・「成人看護学概論」の「准教授1」を「准教授0」、「講師1」を「講師0」
- ・「急性期看護論」の「教授1」を「教授0」、「准教授2」を「准教授0」、「助教2」を「助教0」に変更。
- ・「成人看護実践論」の「教授1」を「教授0」、「准教授2」を「准教授1」、「助教2」を「助教1」に変更。
- ・「老年看護学概論」の「教授1」を「教授0」、「講師1」を「講師0」に変更。
- ・「老年看護実践論」の「教授1」を「教授0」に変更。
- ・「慢性期看護学実習」の「教授0」を「教授1」、「准教授1」を「准教授2」、「講師1」を「講師2」、「助教2」を「助教1」に変更。
- ・「母性看護学概論」の「准教授1」を「准教授2」、「講師0」を「講師2」、「助教1」を「助教3」に変更。
- ・「母性看護実践論」の「准教授1」を「准教授2」、「講師1」を「講師2」、「助教1」を「助教3」に変更。
- ・「母性看護学実習」の「教授0」を「教授1」、「准教授1」を「准教授2」、「講師1」を「講師2」、「助教1」を「助教3」に変更。
- ・「小児看護学概論・小児看護実践論・小児看護学実習」の「助教0」を「助教1」、「助手1」を「助手0」に変更。
- ・「英語論文のクリティーク」の「教授8」を「教授9」、「准教授7」を「准教授9」、「講師7」を「講師8」、「助教12」を「助教13」、「助手1」を「助手0」に変更。

- ・「医療安全学」の「教授1」を「教授0」、「助教0」を「助教1」に変更。
- ・「看護管理学」の「教授1」を「教授0」、「准教授0」を「准教授0」に変更。
- ・「看護学統合演習」の「教授6」を「教授9」、「講師7」を「講師8」、「助教11」を「助教13」、「助手1」を「助手0」に変更。
- ・「キャリア開発実習：クリティカルケア」の「教授6」を「教授0」、「准教授6」を「准教授1」、「講師2」を「講師1」、「助手1」を「助手0」に変更。
- ・「キャリア開発実習：がん看護」の「教授6」を「教授1」、「准教授6」を「准教授1」、「講師7」を「講師0」、「助教0」を「助教2」、「助手1」を「助手0」に変更。
- ・「キャリア開発実習：認知症患者のケア」の「教授6」を「教授2」、「准教授6」を「准教授1」、「講師7」を「講師0」、「助教0」を「助教3」、「助手1」を「助手0」に変更。
- ・「キャリア開発実習：重症心身障害者のケア」の「教授6」を「教授1」、「准教授6」を「准教授1」、「講師7」を「講師0」、「助教0」を「助教3」、「助手1」を「助手0」に変更。
- ・「キャリア開発実習：マタニティケア」の「教授6」を「教授2」、「准教授6」を「准教授2」、「講師7」を「講師2」、「助教0」を「助教3」、「助手1」を「助手0」に変更。
- ・「キャリア開発実習：精神疾患患者のケア」の「教授6」を「教授1」、「准教授6」を「准教授0」、「講師7」を「講師1」、「助教0」を「助教1」、「助手2」を「助手0」に変更。
- ・「キャリア開発実習：地域保健行政・在宅ケア」の「教授6」を「教授1」、「准教授6」を「准教授0」、「講師7」を「講師1」、「助教0」を「助教2」、「助手2」を「助手0」に変更。
- ・「キャリア開発実習：国際感染症患者のケア」の「教授6」を「教授1」、「准教授6」を「准教授1」、「講師7」を「講師1」、「助教0」を「助教1」、「助手2」を「助手0」に変更。

【旧カリキュラム】

- ・「看護教育学」の「助教1」を「助教0」に変更。
- ・「卒業研究」の「教授8」を「教授9」、「講師7」を「講師8」、「助教12」を「助教13」、「助手1」を「助手0」に変更。

【令和7年度】

【新カリキュラム】

- ・「解剖生理学Ⅱ」の「講師0」を「講師1」に変更。
- ・「疾病と治療Ⅳ」の「教授0」を「教授1」、「准教授2」を「准教授1」に変更。
- ・「公衆衛生学」の「准教授2」を「准教授1」に変更。
- ・「看護概論」の「准教授0」を「准教授1」、「助教3」を「助教2」に変更。
- ・「看護理論」の「准教授1」を「准教授0」、「講師0」を「講師1」に変更。
- ・「看護実践技術Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ」「看護学体験実習」「看護過程展開実習」「看護過程と看護補法論」の「助教3」を「助教2」に変更。
- ・「看護教育学」の「助教0」を「助教1」に変更。
- ・「ヘルスアセスメント」の「教授0」を「教授1」、「助教3」を「助教2」に変更。
- ・「フィジカルアセスメント」の「助教2」を「助教1」に変更。
- ・「在宅看護学概論」の「助教1」を「助教0」に変更。
- ・「在宅看護学実習」「在宅看護実践論」の「助教2」を「助教1」に変更。
- ・「急性期看護論」「成人看護実践論」「成人看護の探求」「急性期看護学実習」「慢性期看護学実習」の「講師2」を「講師1」に変更。
- ・「母性看護学概論」の「助教1」を「助教2」に変更。
- ・「英語論文のクリティーク」「卒業研究」の「准教授9」を「准教授8」、「講師8」を「講師7」、「助教13」を「助教10」に変更。
- ・「看護学統合演習」「看護学統合実習」の「教授9」を「教授8」、「講師8」を「講師7」、「助教13」を「助教10」に変更。
- ・「医療安全学」の「講師0」を「講師1」に変更。
- ・「看護管理学」の「准教授0」を「准教授1」に変更。
- ・「国際看護学Ⅰ」の「教授0」を「教授1」、「准教授1」を「准教授0」に変更。
- ・「国際看護学Ⅱ」の「助教0」を「助教1」に変更。
- ・「キャリア開発実習：クリティカルケア」の「教授0」を「教授1」に変更。
- ・「キャリア開発実習：がん看護」の「助教2」を「助教1」に変更。
- ・「キャリア開発実習：認知症患者のケア」の「教授2」を「教授1」、「講師0」を「講師1」、「助教3」を「助教2」に変更。
- ・「キャリア開発実習：地域保健行政・在宅ケア」の「助教2」を「助教1」に変更。
- ・「キャリア開発実習：国際感染症患者のケア」の「助教1」を「助教0」に変更。

- (注) ・ 2 (1) ー① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
86 科目	14 科目	1 科目	101 科目	82 科目 [△4]	21 科目 [7]	1 科目 []	104 科目 [3]	【旧カリキュラム】 設置時の計画：必修86科目、選択14科目、自由1科目、 計 (A) 101科目 変更状況：必修86科目、選択14科目、自由1科目、 計101科目 (増減なし)

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム (新カリキュラム) の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム (旧カリキュラム) の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。

なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	生化学	1	1	専門	必修	保健師助産師看護師学校養成所指定規則の一部改正に伴うカリキュラム変更：自然科学の基礎と栄養学に内容を吸収させた。
2	臨床薬理学演習	1	2	専門	必修	保健師助産師看護師学校養成所指定規則の一部改正に伴うカリキュラム変更：薬理学を2単位とし内容を吸収させた。
3	社会保障制度概論	1	2	専門	必修	保健師助産師看護師学校養成所指定規則の一部改正に伴うカリキュラム変更：保健医療福祉システム論を必修科目とし、内容を吸収させた。
4	老年生活支援実習	2	2	専門	必修	保健師助産師看護師学校養成所指定規則の一部改正に伴うカリキュラム変更：成人看護学実習と老年看護学実習の実習目標を合わせて再編し、新たな内容として科目を設定した。
5	老年看護学実習	2	3	専門	必修	保健師助産師看護師学校養成所指定規則の一部改正に伴うカリキュラム変更：成人看護学実習と老年看護学実習の実習目標を合わせて再編し、新たな内容として科目を設定した。

(注)・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。

なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

廃止科目はいずれも保健師助産師看護師学校養成所指定規則の一部改正に伴い、カリキュラムを変更したものである。2022年度入学生には履修案内やカリキュラムガイダンスで周知している。

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{5}{101} = \boxed{4.95} \%$$

(注)・ 小数点以下第 3 位を切り捨て、小数点以下第 2 位まで表示されます。

- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 新学部設置に係る 借用面積:12,098㎡ 借用期間:42年			
	校 舎 敷 地	37,384 ㎡	㎡	㎡	㎡				
	運動場用地	10,503 ㎡	㎡	㎡	㎡				
	小 計	47,887 ㎡	㎡	㎡	㎡				
	そ の 他	4,597 ㎡	㎡	㎡	㎡				
	合 計	52,483 ㎡	㎡	㎡	㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
		53,093 ㎡ (53,093 ㎡)	㎡ (㎡)	㎡ (㎡)	53,093 ㎡ (53,093 ㎡)	新学部設置に係る 借用面積:16,130㎡ 借用期間:42年			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設 室 (補助職員 人)	語学学習施設 室 (補助職員 人)	届出学部全体		
		12室	14室	3室					
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		東が丘看護学部 看護学科			37 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	新規購入により増加した もの 平成7年5月1日現在	
	東が丘看護学部	20,000 [200] -(16,156 [168]) -(10,428 [190]) -(22,632 [190]) (23,770 [259])	93 [18] (93 [18]) -(310 [24]) (319 [24]) (319 [24])	3,580 [2,240] (3,580 [2,240]) -(4,327 [2870]) (4,498 [2,918]) (4,541 [2,916])	410 (354) -(416) (495)	3,061 (2,781)	95 (95)		
		計	20,000 [200] -(16,156 [168]) -(10,428 [190]) -(22,632 [190]) (23,770 [259])	93 [18] (93 [18]) -(310 [24]) (319 [24]) (319 [24])	3,580 [2,240] (3,580 [2,240]) -(4,327 [2870]) (4,498 [2,918]) (4,541 [2,916])	410 (354) -(416) (495)	3,061 (2,781)		95 (95)
(6) 図 書 館		面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		届出学部全体	
		286㎡		85席		20000冊			
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
		582㎡		市 川 運 動 場 (桜 グ ラ ウ ン ド (多 目 的 屋 外 運 動 場))					
(8) 経費の見積り及び 維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	届出学部全体
		教員 1 人 当り研究費等	400千円	400千円	図書購入費	10,000千円	15,000千円	15,000千円	
		共 同 研 究 費 等	7,000千円	7,000千円	設備購入費	40,000千円	25,000千円	25,000千円	
	学生 1 人 当り 納付金	第 1 年 次	第 2 年 次	第 3 年 次	第 4 年 次	第 5 年 次	第 6 年 次		
		1,850千円	1,600千円	1,600千円	1,550千円	千円	千円		
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学経常経費補助金						

- (注)・設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。
- (複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA C対象学部等の数値を記入してください。)
- 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。
 - なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称										収容定員充足率 0.7倍以下の 学科数	2	収容定員充足率 1.15倍以上 の学科数	0
既設学部等の名称	修業 年限	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	学位又 は称号	収容定員 充足率	収容定員 充足率 (控除後)	定員変更 年度 (AC期間 の学科のみ)	開設 年度	所在地	備 考		
医療保健学部	年	人	年次 人	人		倍	倍	年度	年度		※令和2年度より学生募集停止 (東が丘・立川看護学部)		
看護学科	4	100		400	学士(看護学)	1.27	—	—	平成17年度	五反田キャンパス 東京都品川区東五反田4-1-17			
医療栄養学科	4	100		400	学士(栄養学)	0.64	—	—	平成17年度	世田谷キャンパス 東京都世田谷区世田谷3-11-5			
医療情報学科	4	80		320	学士(医療情報学)	0.48	—	—	平成17年度	世田谷キャンパス 東京都世田谷区世田谷3-11-5			
東が丘・立川看護学部	—	—		200									
看護学科 臨床看護学コース	4	—		100	学士(看護学)	—	—	—	平成22年度	国立病院機構キャンパス 東京都目黒区東が丘2-5-1			
看護学科 災害看護学コース	4	—		100	学士(看護学)	—	—	—	平成28年度	国立病院機構 立川キャンパス 東京都立川市緑町3256			
東が丘看護学部		100		400	—								
看護学科	4	100		400	学士(看護学)	1.10	—	—	令和2年度	国立病院機構キャンパス 東京都目黒区東が丘2-5-1			
立川看護学部		100		400	—								
看護学科	4	100		400	学士(看護学)	1.19	—	—	令和2年度	国立病院機構立川キャンパス 東京都立川市緑町3256			
千葉看護学部		100		400							※令和7年度より入学定員増(90→100名)		
看護学科	4	100		400	学士(看護学)	1.12	—	—	平成30年度	船橋キャンパス 千葉県船橋市海神町1-1042-2			
和歌山看護学部		100		370									
看護学科	4	100		370	学士(看護学)	1.08	—	—	平成30年度	健康キャンパス 和歌山県和歌山市東浜ノ上7-3			
大学全体	4	680		2690		1.00	—	—	—	—			

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。

なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。

・記載項目以外、保護を付けています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「—」とした上で、「非表示」設定としてください。

・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。

※「入学定員を定めている組織」ごとに、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。

履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

・本年度A Cの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。

開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。

算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和8年度開設用）IV.3.3収容定員の充足状況」をご確認ください。

・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。

なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。

・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。

また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。

・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。

詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

＜東が丘看護学部 看護学科＞

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和4年度】			【令和5年度】			【令和6年度】			【令和7年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 担当授業科目名
専任	教授 (学部長)	山西 文子 (73) ＜令和2年4月＞ 修士(人間科学)	専任	教授 (学部長)	山西 文子 (75) ＜令和2年4月＞ 修士(人間科学)	専任	教授 (学部長)	山西 文子 (77) ＜令和2年4月＞ 修士(人間科学)	専任	教授 (学部長)	山西 文子 (78) ＜令和2年4月＞ 修士(人間科学)
		医療医療論 医療安全学 看護管理学 国際看護学Ⅱ 英語論文のクリティーク 看護学総合実習 チーム医療論 看護政策論 NP論 卒業研究			【新カリキュラム】 国際看護学Ⅰ 国際看護学Ⅱ 英語論文のクリティーク 看護学総合実習 チーム医療論 看護政策論 NP論 卒業研究			【新カリキュラム】 国際看護学Ⅰ 国際看護学Ⅱ 英語論文のクリティーク 【旧カリキュラム】 看護学総合実習 チーム医療論 看護政策論 NP論 卒業研究			【新カリキュラム】 国際看護学Ⅰ 国際看護学Ⅱ 英語論文のクリティーク 医療医療論 看護学総合実習 チーム医療論 看護政策論 NP論 卒業研究 看護学総合実習 キャリア開発実習 看護総合実習
専任	教授	今井 秀樹 (58) ＜平成32年4月＞ 博士(保健学)	専任	教授		専任	教授		専任	教授	
		公衆衛生学 臨床検査学演習 実用医療英語 看護研究の基礎 英語論文のクリティーク 卒業研究									
			専任	教授	明石 真書 (67) ＜令和2年8月＞ 博士(医学)	専任	教授	明石 真書 (68) ＜令和2年8月＞ 博士(医学)	専任	教授	明石 真書 (70) ＜令和2年8月＞ 博士(医学)
					【新カリキュラム】 自然科学の基礎 解剖生理学Ⅰ 解剖生理学Ⅱ 【旧カリキュラム】 実用医療英語 公衆衛生学 英語論文のクリティーク 卒業研究 臨床検査学演習			【新カリキュラム】 自然科学の基礎 実用医療英語 在宅看護学概論 地域看護学概論 【旧カリキュラム】 卒業研究 在宅看護学実習 在宅看護学実習 解剖生理学Ⅰ 解剖生理学Ⅱ 英語論文のクリティーク			【新カリキュラム】 英語論文のクリティーク 解剖生理学Ⅱ 疾病と治療Ⅳ 卒業研究
									専任	教授	
専任	教授	小野 孝二 (53) ＜平成32年4月＞ 博士(工学)	専任	教授	小野 孝二 (55) ＜令和2年4月＞ 博士(工学)	専任	教授	小野 孝二 (56) ＜令和2年4月＞ 博士(工学)	専任	教授	小野 孝二 (58) ＜令和2年4月＞ 博士(工学)
		自然科学の基礎 臨床検査学演習 看護研究の基礎 英語論文のクリティーク 卒業研究			【新カリキュラム】 自然科学の基礎 【旧カリキュラム】 臨床検査学演習 看護研究の基礎 英語論文のクリティーク 卒業研究			【新カリキュラム】 解剖生理学Ⅱ 自然科学の基礎 臨床検査学演習 【旧カリキュラム】 英語論文のクリティーク 看護研究の基礎 卒業研究			【新カリキュラム】 解剖生理学Ⅱ 自然科学の基礎 臨床検査学演習 看護研究の基礎 英語論文のクリティーク 卒業研究
専任	教授	酒井 一夫 (65) ＜平成32年4月＞ 博士(理学)	専任	教授		専任	教授		専任	教授	
		臨床検査学演習 疾病と治療Ⅳ(臨床検査・生物検査・P32部外) 実用医療英語 看護研究の基礎 英語論文のクリティーク 卒業研究									
専任	教授	斎藤 益子 (71) ＜平成32年4月＞	専任	教授		専任	教授		専任	教授	
		母性看護学概論 国際看護学Ⅰ 英語論文のクリティーク 卒業研究									
			専任	教授	高田 三恵子 (68) ＜令和3年11月＞ 博士(看護学)	専任	教授	高田 三恵子 (69) ＜令和3年11月＞ 博士(看護学)	専任	教授	高田 三恵子 (53) ＜令和6年4月＞
					【新カリキュラム】 在宅看護学概論 英語論文のクリティーク 卒業研究			【新カリキュラム】 在宅看護学概論 英語論文のクリティーク 卒業研究 看護学総合実習			【新カリキュラム】 英語論文のクリティーク 在宅看護学概論 母性看護学概論 母性看護学概論
						専任	教授	高田 三恵子 (52) ＜令和6年4月＞	専任	教授	
								【新カリキュラム】 英語論文のクリティーク 実用医療英語 在宅看護学概論 母性看護学概論			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			
専任	教授	田中 聖伊 (44) ＜平成32年4月＞ 臨床コミュニケーション論 精神看護学概論 精神看護学実践 障害看護概論 英語論文のクリティック 精神看護学実習 看護学統合実習 卒業研究	専任	教授	田中 聖伊 (46) ＜令和2年4月＞ 【新カリキュラム】 看護概論 精神看護学概論 臨床コミュニケーション論 障害看護概論 【旧カリキュラム】 精神看護学実習 精神看護学実践 英語論文のクリティック 精神看護学実習 看護学統合実習 卒業研究	専任	教授	田中 聖伊 (47) ＜令和2年4月＞ 【新カリキュラム】 精神看護学概論 臨床コミュニケーション論 看護概論 【旧カリキュラム】 精神看護学実習 精神看護学実践 英語論文のクリティック 臨床コミュニケーション論 看護概論 【旧カリキュラム】 卒業研究 看護学統合実習	専任	教授	田中 聖伊 (48) ＜令和2年4月＞ 【新カリキュラム】 精神看護学概論 精神看護学実践 精神看護学概論 精神看護学実践 精神看護学実習 英語論文のクリティック 臨床コミュニケーション論 看護概論 【旧カリキュラム】 卒業研究 看護学統合実習	専任	教授	田中 聖伊 (49) ＜令和2年4月＞ 【新カリキュラム】 精神看護学概論 精神看護学実践 精神看護学概論 精神看護学実践 精神看護学実習 英語論文のクリティック 臨床コミュニケーション論 看護概論 看護学統合実習 キャリア開発実習 卒業研究 看護学統合実習
		中島 美津子 (50) ＜平成32年4月＞ 小児看護学概論 小児看護学実践 英語論文のクリティック 小児看護学実習 看護学統合実習 卒業研究			中島 美津子 (52) ＜令和2年4月＞ 【旧カリキュラム】 小児看護学概論 小児看護学実践 英語論文のクリティック 小児看護学実習 看護学統合実習 卒業研究 看護学実習 医療安全学			中島 美津子 (53) ＜令和2年4月＞ 【新カリキュラム】 小児看護学概論 小児看護学実践 英語論文のクリティック 小児看護学実習 看護学実習 医療安全学 小児看護学実践 卒業研究 看護学統合実習			中島 美津子 (54) ＜令和2年4月＞ 【新カリキュラム】 小児看護学概論 小児看護学実践 英語論文のクリティック 小児看護学実習 【旧カリキュラム】 卒業研究 看護学統合実習			中島 美津子 (55) ＜令和2年4月＞ 【新カリキュラム】 小児看護学概論 小児看護学実践 英語論文のクリティック 小児看護学実習 看護学統合実習 卒業研究 看護学統合実習 キャリア開発実習 看護概論とキャリア形成
専任	教授	松山 美子 (60) ＜平成32年4月＞ 看護学概論 看護実践技術論Ⅰ （日常生活における援助技術と判断） ヘルスケアセメント 看護学体験実習 看護実践技術論Ⅱ （治療・処置における援助技術と判断） フィジカルアセスメント 看護過程と看護方法論 日常生活援助実践実習 看護過程展開実習 英語論文のクリティック 看護学統合実習 看護教育学 卒業研究	専任	教授	松山 美子 (62) ＜令和2年4月＞ 【新カリキュラム】 看護学概論 看護実践技術論Ⅰ （日常生活における援助技術と判断） ヘルスケアセメント 看護学体験実習 看護実践技術論Ⅱ （治療・処置における援助技術と判断） 看護実践技術論Ⅲ （看護技術の統合） 看護過程と看護方法論 日常生活援助実践実習 看護過程展開実習 【旧カリキュラム】 英語論文のクリティック 看護教育学 卒業研究 看護過程展開実習	専任	教授	松山 美子 (63) ＜令和2年4月＞ 【新カリキュラム】 看護学概論 看護実践技術論Ⅰ （日常生活における援助技術と判断） ヘルスケアセメント 看護学体験実習 看護実践技術論Ⅱ （治療・処置における援助技術と判断） 看護実践技術論Ⅲ （看護技術の統合） 看護過程と看護方法論 日常生活援助実践実習 看護過程展開実習 【旧カリキュラム】 看護教育学 卒業研究 看護学統合実習 看護教育学	専任	教授	松山 美子 (64) ＜令和2年4月＞ 【新カリキュラム】 看護学概論 看護実践技術論Ⅰ （日常生活における援助技術と判断） ヘルスケアセメント 看護学体験実習 看護実践技術論Ⅱ （治療・処置における援助技術と判断） 看護実践技術論Ⅲ （看護技術の統合） 看護過程と看護方法論 日常生活援助実践実習 看護過程展開実習 英語論文のクリティック 【旧カリキュラム】 卒業研究 看護学統合実習	専任	教授	上原 真希 (52) ＜令和2年4月＞ 【新カリキュラム】 看護学概論 看護学概論 看護学概論 看護実践技術論Ⅰ （日常生活における援助技術と判断） ヘルスケアセメント 看護学体験実習 看護実践技術論Ⅱ （治療・処置における援助技術と判断） 看護実践技術論Ⅲ （看護技術の統合） 看護過程と看護方法論 日常生活援助実践実習 看護過程展開実習 英語論文のクリティック 看護学統合実習 看護教育学 キャリア開発実習 看護研究の基礎
		上原 真希 (51) ＜令和6年4月＞ 【新カリキュラム】 看護学概論 英語論文のクリティック 【旧カリキュラム】 卒業研究 看護学統合実習 看護教育学			上原 真希 (52) ＜令和6年4月＞ 【新カリキュラム】 看護学概論 看護学概論 看護学概論 看護実践技術論Ⅰ （日常生活における援助技術と判断） ヘルスケアセメント 看護学体験実習 看護実践技術論Ⅱ （治療・処置における援助技術と判断） 看護実践技術論Ⅲ （看護技術の統合） 看護過程と看護方法論 日常生活援助実践実習 看護過程展開実習 英語論文のクリティック 看護学統合実習 看護教育学 キャリア開発実習 看護研究の基礎									
専任	准教授	竹内 朋子 (44) ＜平成32年4月＞ 成人看護学概論 老年看護学概論 老年看護学実践 成人看護の探求 英語論文のクリティック 看護学統合実習 卒業研究	専任	教授	竹内 朋子 (46) ＜令和2年4月＞ 【新カリキュラム】 成人看護学概論 老年看護学概論 成人看護学概論 【旧カリキュラム】 成人看護学概論 老年看護学概論 老年看護学実践 成人看護の探求 英語論文のクリティック 看護学統合実習 卒業研究 看護研究の基礎 実習生臨床実習	専任	教授	竹内 朋子 (47) ＜令和2年4月＞ 【新カリキュラム】 成人看護学概論 老年看護学概論 老年看護学概論 【旧カリキュラム】 成人看護学概論 老年看護学概論 老年看護学実践 成人看護の探求 英語論文のクリティック 看護学統合実習 卒業研究 看護研究の基礎 実習生臨床実習	専任	教授	竹内 朋子 (48) ＜令和2年4月＞ 【新カリキュラム】 成人看護学概論 老年看護学概論 老年看護学概論 【旧カリキュラム】 成人看護学概論 老年看護学概論 老年看護学実践 成人看護の探求 英語論文のクリティック 看護学統合実習 卒業研究 看護研究の基礎 実習生臨床実習	専任	教授	竹内 朋子 (49) ＜令和2年4月＞ 【新カリキュラム】 成人看護学概論 老年看護学概論 老年看護学概論 【旧カリキュラム】 成人看護学概論 老年看護学概論 老年看護学実践 成人看護の探求 英語論文のクリティック 看護学統合実習 卒業研究 看護研究の基礎 実習生臨床実習 看護学統合実習
		朝澤 恭子 (52) ＜平成32年4月＞ 疾病と治療Ⅳ （泌尿器系・生殖系・内分泌系） 国際看護学Ⅰ 母性看護学概論 母性看護学実践 英語論文のクリティック 母性看護学実習 卒業研究			朝澤 恭子 (54) ＜令和2年4月＞ 【旧カリキュラム】 疾病と治療Ⅳ （泌尿器系・生殖系・内分泌系） 母性看護学概論 母性看護学実践 英語論文のクリティック 母性看護学実習 看護学統合実習 卒業研究 看護研究の基礎 母性看護学概論			朝澤 恭子 (55) ＜令和2年4月＞ 【新カリキュラム】 疾病と治療Ⅳ （泌尿器系・生殖系・内分泌系） 母性看護学概論 母性看護学実践 看護研究の基礎 【旧カリキュラム】 卒業研究 看護学統合実習 母性看護学概論 母性看護学実践 母性看護学実習 英語論文のクリティック			朝澤 恭子 (57) ＜令和2年4月＞ 【新カリキュラム】 卒業研究 母性看護学概論 母性看護学実践 母性看護学実習 英語論文のクリティック キャリア開発実習 看護学統合実習			
専任	准教授	若本 都子 (66) ＜平成32年4月＞ 看護概論 看護実践 英語論文のクリティック 看護学統合実習 卒業研究	専任	准教授		専任	准教授		専任	准教授		専任	准教授	
		金子 あけみ (61) ＜平成32年4月＞ 疾病と治療Ⅳ（泌尿器系・生殖系・内分泌系） 看護概論とキャリア形成 卒業研究			金子 あけみ (63) ＜令和2年4月＞ 【旧カリキュラム】 看護概論とキャリア形成 卒業研究 疾病近接論 公衆衛生学 英語論文のクリティック 疾病と治療Ⅳ（泌尿器系・生殖系・内分泌系）			金子 あけみ (64) ＜令和2年4月＞ 【新カリキュラム】 英語論文のクリティック 疾病と治療Ⅳ（泌尿器系・生殖系・内分泌系） 災害看護学 疾病近接論 公衆衛生学 【旧カリキュラム】 卒業研究 看護概論とキャリア形成			金子 あけみ (65) ＜令和2年4月＞ 【新カリキュラム】 英語論文のクリティック 疾病と治療Ⅳ（泌尿器系・生殖系・内分泌系） 災害看護学 疾病近接論 英語論文のクリティック 【旧カリキュラム】 卒業研究 看護概論とキャリア形成			
専任	准教授	金子 順子 (59) ＜平成32年4月＞ 小児看護学概論 小児看護学実践 英語論文のクリティック 小児看護学実習 看護学統合実習 卒業研究	専任	准教授	金子 順子 (61) ＜令和2年4月＞ 【旧カリキュラム】 小児看護学概論 小児看護学実践 英語論文のクリティック 小児看護学実習 看護学統合実習 卒業研究	専任	准教授	金子 順子 (62) ＜令和2年4月＞ 【新カリキュラム】 小児看護学概論 小児看護学実践 ポランディア論 【旧カリキュラム】 卒業研究 看護学統合実習 小児看護学実践	専任	准教授	金子 順子 (63) ＜令和2年4月＞ 【新カリキュラム】 小児看護学概論 小児看護学実践 英語論文のクリティック 小児看護学実習 ポランディア論 看護概論 キャリア開発実習	専任	准教授	金子 順子 (64) ＜令和2年4月＞ 【新カリキュラム】 小児看護学概論 小児看護学実践 英語論文のクリティック 小児看護学実習 ポランディア論 看護概論 キャリア開発実習
		金子 順子 (61) ＜平成32年4月＞ 疾病と治療Ⅳ（泌尿器系・生殖系・内分泌系） 看護概論とキャリア形成 卒業研究			金子 順子 (62) ＜令和2年4月＞ 【新カリキュラム】 小児看護学概論 小児看護学実践 ポランディア論 【旧カリキュラム】 卒業研究 看護学統合実習 小児看護学実践			金子 順子 (63) ＜令和2年4月＞ 【新カリキュラム】 英語論文のクリティック 疾病と治療Ⅳ（泌尿器系・生殖系・内分泌系） 災害看護学 疾病近接論 英語論文のクリティック 【旧カリキュラム】 卒業研究 看護概論とキャリア形成			金子 順子 (64) ＜令和2年4月＞ 【新カリキュラム】 小児看護学概論 小児看護学実践 英語論文のクリティック 小児看護学実習 ポランディア論 看護概論 キャリア開発実習			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任（予定）年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任（予定）年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任（予定）年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任（予定）年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専任	助教	加藤 知子 (40) ＜平成32年4月＞ 看護学体験実習 日常生活援助機関実習 看護過程展開実習 英語論文のクリティーク 看護学統合実習 卒業研究	専任	講師	加藤 知子 (42) ＜令和2年4月＞ 【旧カリキュラム】 英語論文のクリティーク 看護学統合実習 卒業研究									
専任	助教	小嶋 真都子 (40) ＜平成32年4月＞ 看護学体験実習 日常生活援助機関実習 看護過程展開実習 母性看護実践論 英語論文のクリティーク 母性看護学実習 看護学統合実習 卒業研究	専任	講師	小嶋 真都子 (42) ＜令和2年4月＞ 【新カリキュラム】 看護学体験実習 日常生活援助機関実習 【旧カリキュラム】 母性看護実践論 母性看護学実習 英語論文のクリティーク 母性看護学実習 看護学統合実習 卒業研究	専任	講師	小嶋 真都子 (43) ＜令和2年4月＞ 【新カリキュラム】 英語論文のクリティーク 母性看護実践論 母性看護学実習 【旧カリキュラム】 卒業研究 看護学統合実習	専任	講師	小嶋 真都子 (44) ＜令和2年4月＞ 【新カリキュラム】 英語論文のクリティーク 母性看護実践論 母性看護学実習 【旧カリキュラム】 卒業研究 看護学統合実習	専任	講師	小嶋 真都子 (45) ＜令和2年4月＞ 【新カリキュラム】 英語論文のクリティーク 母性看護実践論 母性看護学実習 キャリア開発実習 卒業研究 看護学統合実習
専任	助教	日高 茉莉恵 (45) ＜平成32年4月＞ 看護学体験実習 日常生活援助機関実習 臨床検査学実習 公衆衛生学 看護過程展開実習 英語論文のクリティーク 看護学統合実習 卒業研究												
専任	助教	井本 由希子 (45) ＜平成32年4月＞ 看護学体験実習 日常生活援助機関実習 老年看護実践論 看護過程展開実習 老年生活支援実習 成人看護実践論 英語論文のクリティーク 老年看護学実習 看護学統合実習 卒業研究	専任	助教	井本 由希子 (46) ＜令和2年4月＞ 【新カリキュラム】 日常生活援助機関実習 【旧カリキュラム】 老年看護実践論 老年生活支援実習 成人看護実践論 英語論文のクリティーク 老年看護学実習 看護学統合実習 卒業研究 看護過程展開実習 看護学統合実習									
			専任	助教	井本 幸次平 (62) ＜令和4年4月＞ 【新カリキュラム】 日常生活援助機関実習 【旧カリキュラム】 老年看護実践論 老年生活支援実習 成人看護実践論 英語論文のクリティーク 老年看護学実習 看護学統合実習 卒業研究	専任	助教	井本 幸次平 (63) ＜令和4年4月＞ 【旧カリキュラム】 老年看護実践論 老年生活支援実習 成人看護実践論 英語論文のクリティーク 老年看護学実習 看護学統合実習 卒業研究						
専任	助教	藤原 桂里子 (36) ＜平成32年4月＞ 看護学体験実習 日常生活援助機関実習 看護過程展開実習 母性看護実践論 英語論文のクリティーク 母性看護学実習 看護学統合実習 卒業研究												
			専任	助教	デッケルト 陽子 (42) ＜令和2年4月＞ 【新カリキュラム】 看護学体験実習 日常生活援助機関実習 【旧カリキュラム】 看護過程展開実習 看護学統合実習 英語論文のクリティーク 卒業研究									
			専任	助教	浅井 百合絵 (37) ＜令和4年4月＞ 【旧カリキュラム】 卒業研究 看護学統合実習 英語論文のクリティーク	専任	助教	浅井 百合絵 (38) ＜令和4年4月＞ 【旧カリキュラム】 英語論文のクリティーク 母性看護実践論 母性看護学実習 卒業研究 看護学統合実習	専任	助教	浅井 百合絵 (39) ＜令和4年4月＞ 【新カリキュラム】 英語論文のクリティーク 母性看護実践論 母性看護学実習 【旧カリキュラム】 卒業研究 看護学統合実習	専任	助教	浅井 百合絵 (40) ＜令和4年4月＞ 【新カリキュラム】 英語論文のクリティーク 母性看護実践論 母性看護学実習 キャリア開発実習 卒業研究 看護学統合実習
専任	助教	嶋谷 圭一 (37) ＜平成32年4月＞ 看護学体験実習 日常生活援助機関実習 看護過程展開実習 地域看護学概論 災害看護学 疫学や公衆衛生学 自立支援教育論 在宅看護実践論Ⅰ （在宅における看護実践と地域看護） 英語論文のクリティーク 在宅看護実践論Ⅱ （地域におけるケアシステムと看護） 在宅看護学実習 看護学統合実習 卒業研究												
			専任	助教	赤石 孝佳 (51) ＜令和4年4月＞ 【新カリキュラム】 看護学体験実習 日常生活援助機関実習 【旧カリキュラム】 看護過程展開実習 地域看護学概論 疫学や公衆衛生学 自立支援教育論 在宅看護学実習 看護学統合実習 卒業研究									
			専任	助教	森山 真 (38) ＜令和5年4月＞ 【新カリキュラム】 国際看護学Ⅱ 在宅看護実践論 【旧カリキュラム】 看護学統合実習 卒業研究	専任	助教	森山 真 (39) ＜令和5年4月＞ 【新カリキュラム】 国際看護学Ⅱ 在宅看護実践論 在宅看護学実習 医療安全学	専任	助教	森山 真 (40) ＜令和5年4月＞ 【新カリキュラム】 英語論文のクリティーク 国際看護学Ⅱ 在宅看護実践論 在宅看護学実習 医療安全学	専任	助教	森山 真 (40) ＜令和5年4月＞ 【新カリキュラム】 英語論文のクリティーク 国際看護学Ⅱ 在宅看護実践論 在宅看護学実習 医療安全学

兼任・兼任の別	氏名 (年齢)	就任(予定)年月	担当授業科目名	兼任・兼任の別	氏名 (年齢)	就任(予定)年月	担当授業科目名	兼任・兼任の別	氏名 (年齢)	就任(予定)年月	担当授業科目名	兼任・兼任の別	氏名 (年齢)	就任(予定)年月	担当授業科目名	兼任・兼任の別	氏名 (年齢)	就任(予定)年月	担当授業科目名
				兼任 講師	吉川 結南 (74)	<平成32年4月>	生化学					兼任 講師	吉川 結南 (74)	<平成32年4月>	生化学				
				兼任 講師	幸田川 悦子 (70)	<平成32年4月>	微生物学					兼任 講師	幸田川 悦子 (70)	<平成32年4月>	微生物学				
				兼任 講師	谷地 重 (58)	<平成32年4月>	薬理学					兼任 講師	谷地 重 (58)	<平成32年4月>	薬理学				
				兼任 講師	大塚 知博 (58)	<令和4年4月>	薬理学					兼任 講師	大塚 知博 (58)	<令和4年4月>	薬理学				
				兼任 講師	林 茂樹 (75)	<平成32年4月>	疾病と治療 I (呼吸器系、消化器系)					兼任 講師	林 茂樹 (75)	<平成32年4月>	疾病と治療 I (呼吸器系、消化器系)				
				兼任 講師	小山田 吉孝 (55)	<平成32年4月>	疾病と治療 I (呼吸器系、消化器系)					兼任 講師	小山田 吉孝 (55)	<平成32年4月>	疾病と治療 I (呼吸器系、消化器系)				
				兼任 講師	堀山 孝彦 (59)	<平成32年4月>	疾病と治療 II (血液系、循環器系)					兼任 講師	堀山 孝彦 (59)	<平成32年4月>	疾病と治療 II (血液系、循環器系)				
				兼任 講師	横山 明弘 (53)	<平成32年4月>	疾病と治療 II (血液系、循環器系)					兼任 講師	横山 明弘 (53)	<平成32年4月>	疾病と治療 II (血液系、循環器系)				
				兼任 講師	新田 功 (67)	<平成33年4月>	統計学												
				兼任 講師	辻 泰弘 (64)	<平成33年4月>	社会保険制度総論 保健医療福祉システム論					兼任 講師	辻 泰弘 (64)	<平成33年4月>	社会保険制度総論 保健医療福祉システム論				
				兼任 講師	吉川 重樹 (56)	<平成33年4月>	医療と法 (看護関係法)												
				兼任 講師	新井 公人 (65)	<平成33年4月>	疾病と治療 III (神経系、骨格系)												
				兼任 講師	森田 秀夫 (57)	<平成33年4月>	疾病と治療 III (神経系、骨格系)					兼任 講師	森田 秀夫 (57)	<平成33年4月>	疾病と治療 III (神経系、骨格系)				
				兼任 講師	尾崎 誠司 (54)	<平成33年4月>	疾病と治療 V (感覚器系、統合)					兼任 講師	尾崎 誠司 (54)	<平成33年4月>	疾病と治療 V (感覚器系、統合)				
				兼任 講師	横山 光雄 (64)	<平成33年4月>	疾病と治療 VI (精神系)												
				兼任 講師	藤島 良介 (54)	<平成33年4月>	臨床栄養学演習												
				兼任 講師	大谷 華 (60)	<平成33年4月>	人間工学												
				兼任 講師	川原 康弘 (47)	<令和4年4月>	人間工学					兼任 講師	川原 康弘 (47)	<令和4年4月>	人間工学				
				兼任 講師	千葉 ちよ (51)	<令和5年4月>	カウンセリングの基礎					兼任 講師	千葉 ちよ (51)	<令和5年4月>	カウンセリングの基礎				

【令和2年度】			【令和3年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名			担当授業科目名
専任	教授 (学部長)	山西 文子 (73) ＜令和2年4月＞ 医療安全学 看護管理学 国際看護学Ⅱ 英語論文のクリティック 看護学総合実習 チーム医療論 看護実践論 NP論 卒業研究	専任	教授 (学部長)	山西 文子 (74) ＜令和2年4月＞ 博士(人間科学) 医療安全学 看護管理学 国際看護学Ⅱ 英語論文のクリティック 看護学総合実習 チーム医療論 看護実践論 NP論 卒業研究
専任	教授	明石 真重 (67) ＜令和2年8月＞ 実用医療英語 公衆衛生学 英語論文のクリティック 卒業研究	専任	教授	明石 真重 (67) ＜令和2年8月＞ 臨床検査学実習 自然科学の基礎 解剖生理学Ⅰ 解剖生理学Ⅱ 実用医療英語 公衆衛生学 英語論文のクリティック 卒業研究
専任	教授	小野 孝二 (53) ＜令和2年4月＞ 自然科学の基礎 臨床検査学実習 看護研究の基礎 英語論文のクリティック 卒業研究	専任	教授	小野 孝二 (54) ＜令和2年4月＞ 自然科学の基礎 臨床検査学実習 看護研究の基礎 英語論文のクリティック 卒業研究
兼任	講師	酒井 一夫 (65) ＜令和2年4月＞ 実用医療英語			
				専任	島田 三恵子 (67) ＜令和3年11月＞ 応用看護学概論 英語論文のクリティック 卒業研究
専任	教授	田中 智恵 (44) ＜令和2年4月＞ 臨床コミュニケーション論 精神看護学概論 精神看護実践論 検査看護論 英語論文のクリティック 精神看護学実習 看護学総合実習 卒業研究	専任	教授	田中 智恵 (45) ＜令和2年4月＞ 臨床コミュニケーション論 精神看護学概論 精神看護実践論 検査看護論 英語論文のクリティック 精神看護学実習 看護学総合実習 卒業研究
専任	教授	平島 美津子 (50) ＜令和2年4月＞ 小児看護学概論 小児看護実践論 英語論文のクリティック 小児看護学実習 看護学総合実習 卒業研究	専任	教授	平島 美津子 (51) ＜令和2年4月＞ 小児看護学概論 小児看護実践論 英語論文のクリティック 小児看護学実習 看護学総合実習 卒業研究
専任	教授	松山 美子 (60) ＜令和2年4月＞ 看護学概論 看護実践技術Ⅰ 〔日常生活に於ける援助技術と観察〕 ヘルプ・アセスメント 看護学体験実習 看護実践技術Ⅱ 〔治療・処置に於ける援助技術と観察〕 看護実践技術Ⅲ 〔看護教育の発展〕 看護連携と看護力発展 日常生活援助展開実習 看護連携展開実習 英語論文のクリティック 看護学総合実習 看護教育学 卒業研究	専任	教授	松山 美子 (61) ＜令和2年4月＞ 博士(看護学) 看護学概論 看護実践技術Ⅰ 〔日常生活に於ける援助技術と観察〕 ヘルプ・アセスメント 看護学体験実習 看護実践技術Ⅱ 〔治療・処置に於ける援助技術と観察〕 看護実践技術Ⅲ 〔看護教育の発展〕 看護連携と看護力発展 日常生活援助展開実習 看護連携展開実習 英語論文のクリティック 看護学総合実習 看護教育学 卒業研究
専任	教授	竹内 順子 (44) ＜令和2年4月＞ 成人看護学概論 老年看護学概論 老年看護実践論 急性期看護論 成人看護実践論 終末期看護論 終末期看護学実習 成人看護の臨床 英語論文のクリティック 看護学総合実習 卒業研究	専任	教授	竹内 順子 (45) ＜令和2年4月＞ 成人看護学概論 老年看護学概論 老年看護実践論 急性期看護論 成人看護実践論 終末期看護論 終末期看護学実習 成人看護の臨床 英語論文のクリティック 看護学総合実習 卒業研究 老年生活支援実習
専任	准教授	新澤 恭子 (52) ＜令和2年4月＞ 医療と倫理Ⅱ 〔医療倫理・生命倫理・P4の倫理〕 国際看護学Ⅰ 母性看護学概論 母性看護実践論 英語論文のクリティック 母性看護学実習 看護学総合実習 卒業研究	専任	准教授	新澤 恭子 (53) ＜令和2年4月＞ 医療と倫理Ⅱ 〔医療倫理・生命倫理・P4の倫理〕 母性看護学概論 母性看護実践論 英語論文のクリティック 母性看護学実習 看護学総合実習 卒業研究
		岩本 輝子 (66)			

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
専任	講師	馬場 智子 (37) <令和2年4月> 看護実践技術論Ⅰ (日常生活における認知症支援と判断) ヘルスケアマネジメント 看護学実習 看護実践技術論Ⅱ (治療・処置における認知症支援と判断) 看護実践技術論Ⅲ (看護実践の総合) 日常生活援助展開実習 フィジカルアセスメント 看護過程と看護方法論 看護過程展開実習 英語論文のクリティック 看護学統合実習 卒業研究	専任	講師	馬場 智子 (38) <令和2年4月> 看護実践技術論Ⅰ (日常生活における認知症支援と判断) ヘルスケアマネジメント 看護学実習 看護実践技術論Ⅱ (治療・処置における認知症支援と判断) 看護実践技術論Ⅲ (看護実践の総合) 日常生活援助展開実習 フィジカルアセスメント 看護過程と看護方法論 看護過程展開実習 英語論文のクリティック 看護学統合実習 卒業研究 看護過程	専任	講師	中村 裕美 (41) <令和2年4月> 修士(看護学) 臨床コミュニケーション論 精神看護学概論 精神看護実践論 障害看護概論 精神看護学実習 英語論文のクリティック 看護学統合実習 卒業研究	専任	講師	中村 裕美 (42) <令和2年4月> 修士(看護学) 臨床コミュニケーション論 精神看護学概論 精神看護実践論 障害看護概論 精神看護学実習 英語論文のクリティック 看護学統合実習 卒業研究
専任	講師	山口 昌重 (36) <令和2年4月> 修士(看護学) 老年看護実践論 成人看護実践論 急性期看護論 急性期看護学実習 成人看護の探求 英語論文のクリティック 看護学統合実習 卒業研究	専任	講師	山口 昌重 (37) <令和2年4月> 修士(看護学) 成人看護実践論 急性期看護論 急性期看護学実習 成人看護の探求 英語論文のクリティック 看護学統合実習 卒業研究	専任	講師	松田 謙一 (40) <令和2年4月> 老年看護学概論 老年看護実践論 老年生活支援実習 急性期看護論 成人看護実践論 老年看護学実習 成人看護の探求 英語論文のクリティック 看護学統合実習 卒業研究	専任	講師	松田 謙一 (41) <令和2年4月> 老年看護学概論 老年看護実践論 老年生活支援実習 急性期看護論 成人看護実践論 老年看護学実習 成人看護の探求 英語論文のクリティック 看護学統合実習 卒業研究
専任	講師	松田 謙一 (40) <令和2年4月> 老年看護学概論 老年看護実践論 老年生活支援実習 急性期看護論 成人看護実践論 老年看護学実習 成人看護の探求 英語論文のクリティック 看護学統合実習 卒業研究	専任	講師	松田 謙一 (41) <令和2年4月> 老年看護学概論 老年看護実践論 老年生活支援実習 急性期看護論 成人看護実践論 老年看護学実習 成人看護の探求 英語論文のクリティック 看護学統合実習 卒業研究	専任	講師	廣瀬 佳代 (46) <令和3年4月> 老年看護学概論 急性期看護論 老年看護学概論 英語論文のクリティック 老年生活支援実習 看護学統合実習 卒業研究	専任	講師	廣瀬 佳代 (46) <令和3年4月> 老年看護学概論 急性期看護論 老年看護学概論 英語論文のクリティック 老年生活支援実習 看護学統合実習 卒業研究
専任	講師	駒田 真由子 (39) <令和2年4月> 地域看護学概論 災害看護学 災害予防看護学 自立支援看護論 在宅看護実践論Ⅰ (在宅における看護実践と危機管理) 英語論文のクリティック 在宅看護実践論Ⅱ (地域におけるケアシステムと連携) 在宅看護学実習 看護学統合実習 卒業研究	専任	講師	駒田 真由子 (40) <令和2年4月> 地域看護学概論 災害看護学 災害予防看護学 自立支援看護論 在宅看護実践論Ⅰ (在宅における看護実践と危機管理) 英語論文のクリティック 在宅看護実践論Ⅱ (地域におけるケアシステムと連携) 在宅看護学実習 看護学統合実習 卒業研究	専任	講師	加藤 紀子 (40) <令和2年4月> 英語論文のクリティック 看護学統合実習 卒業研究	専任	講師	加藤 紀子 (41) <令和2年4月> 英語論文のクリティック 看護学統合実習 卒業研究
専任	助教	小嶋 奈都子 (40) <令和2年4月> 看護学実習 日常生活援助展開実習 看護過程展開実習 急性期看護論 英語論文のクリティック 急性期看護学実習 看護学統合実習 卒業研究	専任	講師	小嶋 奈都子 (41) <令和2年4月> 看護学実習 日常生活援助展開実習 急性期看護論 在宅看護実践論 英語論文のクリティック 急性期看護学実習 看護学統合実習 卒業研究 看護学統合実習						
専任	講師	田中 洋子 (42) <令和2年10月> 英語論文のクリティック 看護学統合実習 卒業研究									
		白鳥 未希恵			日暮 未希恵						

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢) ＜就任（予定）年月＞
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			
専任	助教	(45) ＜令和2年4月＞ 看護学体験実習 日常生活援助展開実習 臨床検査実習 公衆衛生学 看護過程展開実習 英語論文のクリティーク 看護学統合実習 卒業研究	専任	講師	(46) ＜令和2年4月＞ 看護学体験実習 日常生活援助展開実習 臨床検査実習 公衆衛生学 看護過程展開実習 英語論文のクリティーク 看護学統合実習 卒業研究 自然科學の基礎	専任	助教	(46) ＜令和2年4月＞ 日常生活援助展開実習 老年看護実践論 老年生活支援実習 成人看護実践論 英語論文のクリティーク 老年看護学実習 看護学統合実習 卒業研究 看護過程展開実習 老年期看護学実習	専任	助教	(46) ＜令和2年4月＞ 日常生活援助展開実習 老年看護実践論 老年生活支援実習 成人看護実践論 英語論文のクリティーク 老年看護学実習 看護学統合実習 卒業研究 看護過程展開実習 老年期看護学実習	専任	助教	(46) ＜令和2年4月＞ 日常生活援助展開実習 老年看護実践論 老年生活支援実習 成人看護実践論 英語論文のクリティーク 老年看護学実習 看護学統合実習 卒業研究 看護過程展開実習 老年期看護学実習
専任	助教	井本 圭平 (45) ＜令和2年4月＞ 看護学体験実習 日常生活援助展開実習 老年看護実践論 看護過程展開実習 老年生活支援実習 成人看護実践論 英語論文のクリティーク 老年看護学実習 看護学統合実習 卒業研究	専任	助教	井本 由希子 (46) ＜令和2年4月＞ 日常生活援助展開実習 老年看護実践論 老年生活支援実習 成人看護実践論 英語論文のクリティーク 老年看護学実習 看護学統合実習 卒業研究 看護過程展開実習 老年期看護学実習	専任	助教		専任	助教		専任	助教	
専任	助教	デッケルト 陽平 (42) ＜令和2年4月＞ 看護学体験実習 看護過程展開実習 日常生活援助展開実習	専任	助教	デッケルト 陽平 (43) ＜令和2年4月＞ 看護学体験実習 看護過程展開実習 日常生活援助展開実習 看護学統合実習 英語論文のクリティーク 卒業研究	専任	助教		専任	助教		専任	助教	
専任	助教	堀谷 圭一 (37) ＜令和2年4月＞ 看護学体験実習 日常生活援助展開実習 看護過程展開実習 地域看護学概論 災害看護学 疾病予防看護学 自立支援教育論 在宅看護実践論Ⅰ （在宅における看護実践と危機管理） 英語論文のクリティーク 在宅看護実践論Ⅱ （高齢におけるケアシステムと連携） 在宅看護学実習 看護学統合実習 卒業研究	専任	助教	堀谷 圭一 (38) ＜令和2年4月＞ 看護学体験実習 日常生活援助展開実習 地域看護学概論 災害看護学 疾病予防看護学 自立支援教育論 在宅看護実践論Ⅰ （在宅における看護実践と危機管理） 英語論文のクリティーク 在宅看護実践論Ⅱ （高齢におけるケアシステムと連携） 在宅看護学実習 看護学統合実習 卒業研究	専任	助教		専任	助教		専任	助教	
専任	助教	菅原 結美 (36) ＜令和2年4月＞ 看護学体験実習 日常生活援助展開実習 臨床コミュニケーション論 看護過程展開実習 精神看護学概論 精神看護実践論 障害看護概論 精神看護学実習 英語論文のクリティーク 看護学統合実習 卒業研究	専任	助教	菅原 結美 (37) ＜令和2年4月＞ 看護学体験実習 日常生活援助展開実習 臨床コミュニケーション論 看護過程展開実習 精神看護学概論 精神看護実践論 障害看護概論 精神看護学実習 英語論文のクリティーク 看護学統合実習 卒業研究	専任	助教		専任	助教		専任	助教	
専任	助教	早坂 京美 (38) ＜令和2年4月＞ 看護学体験実習 日常生活援助展開実習 看護過程展開実習 英語論文のクリティーク 看護学統合実習 卒業研究	専任	講師	志 穂之 (41) ＜令和3年4月＞ 英語論文のクリティーク 看護学統合実習 卒業研究	専任	助教	山田 恵子 (51) ＜令和2年4月＞ 看護学体験実習 日常生活援助展開実習 看護過程展開実習 小児看護学概論 小児看護実践論 英語論文のクリティーク 小児看護学実習 看護学統合実習 卒業研究	専任	助教	山田 恵子 (51) ＜令和2年4月＞ 看護学体験実習 日常生活援助展開実習 看護過程展開実習 小児看護学概論 小児看護実践論 英語論文のクリティーク 小児看護学実習 看護学統合実習 卒業研究	専任	助教	山田 恵子 (51) ＜令和2年4月＞ 看護学体験実習 日常生活援助展開実習 看護過程展開実習 小児看護学概論 小児看護実践論 英語論文のクリティーク 小児看護学実習 看護学統合実習 卒業研究
専任	助教	鬼塚 宏美 (43) ＜令和2年4月＞ 看護学体験実習 看護過程展開実習	専任	助教	鬼塚 宏美 (44) ＜令和2年4月＞ 看護学体験実習 看護過程展開実習	専任	助教		専任	助教		専任	助教	

専任・ 兼任 兼担・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)
		<就任（予定）年月>
		担当授業科目名
専任	助教	
専任	助教	ハーネド 明香 (35) <令和2年4月> 看護実践技術論Ⅰ （日常生活における運動技能と判断） 看護実践技術論Ⅱ （指導・助産における運動技能と判断） 看護実践技術論Ⅲ （看護技術の統合） ヘルスケアセサメント フィジカルアセスメント 看護過程と看護方法論 看護学総合実習 看護過程臨床実習 日常生活援助展開実習
		藤崎 真弓 (49) <令和2年4月> 臨床検査学基礎 英語論文のクリティーク 看護学総合実習 看護学体験実習 看護過程展開実習 日常生活援助展開実習 看護研究
兼任	准教授	高木 晴彦 (59) <令和2年4月> 医療・看護情報学の基礎 ポテンティブ論
		堀田 翠香 (34) <令和3年4月> 公衆衛生学 ポテンティブ論 災害医学
		山本 伸祐 (50) <令和2年4月> 哲学 倫理学
		重田 孝昭 (69) <令和3年4月> 教育学
		高野 康雄 (46) <令和2年4月> 解明生理学Ⅰ 解剖生理学Ⅱ
		室田真嗣 (39) <令和2年4月> 人間関係論
		大谷 聖子 (43) <令和2年4月> 心理学
兼任	講師	大倉 健吾 (54) <令和2年4月> 社会学
		望月 重信 (77) <令和2年4月> 文化人類学
兼任	講師	高橋 昌一郎 (61) <令和2年4月> 論理学
兼任	講師	飯塚 美幸乃 (56) <令和2年4月> 情報リテラシー
専任・ 兼任 兼担・ 兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)
		<就任（予定）年月>
		担当授業科目名
専任	助教	日常生活援助展開実習 看護学総合実習 英語論文のクリティーク 卒業研究 急性看護実践論 慢性看護実践論 急性看護学概論 急性看護学実習
専任	助教	ハーネド 明香 (36) <令和2年4月> 修士〈看護学〉 看護実践技術論Ⅰ （日常生活における運動技能と判断） 看護実践技術論Ⅱ （指導・助産における運動技能と判断） 看護実践技術論Ⅲ （看護技術の統合） ヘルスケアセサメント フィジカルアセスメント 看護過程と看護方法論 看護学体験実習 看護過程展開実習 日常生活援助展開実習 看護学総合実習 英語論文のクリティーク 卒業研究
		藤崎 真弓 (50) <令和3年4月> 英語論文のクリティーク 卒業研究
兼任	講師	山本 伸祐 (51) <令和2年4月> 哲学 倫理学
		重田 孝昭 (69) <令和3年4月> 教育学
		室田真嗣 (40) <令和2年4月> 人間関係論
		大谷 聖子 (44) <令和2年4月> 心理学
		大倉 健吾 (55) <令和2年4月> 社会学
兼任	講師	望月 重信 (78) <令和2年4月> 文化人類学
兼任	講師	高橋 昌一郎 (62) <令和2年4月> 論理学
兼任	講師	飯塚 美幸乃 (57) <令和2年4月> 情報リテラシー

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	横瀬 久美 (60) <令和2年4月>
		法学
兼任	講師	橋本 謙 (48) <令和2年4月>
		スポーツ科学
兼任	講師	日黒 沙也香 (31) <令和2年4月>
		実用英語Ⅰ 実用英語Ⅱ 実用英語Ⅲ
兼任	講師	岡 欣雄 (28) <令和2年4月>
		実用英語Ⅰ 実用英語Ⅱ 実用英語Ⅲ
兼任	講師	高橋 杏那 (29) <令和2年4月>
		実用英語Ⅲ 実用英語Ⅰ 実用英語Ⅱ
兼任	講師	青田 庄真 (31) <令和2年4月>
		実用英語Ⅰ 実用英語Ⅱ 実用英語Ⅲ
兼任	講師	李 英城 (57) <令和2年4月>
		中国語
兼任	講師	荒田 祐治 (48) <令和2年4月>
		スペイン語
兼任	講師	新木一弘 (61) <令和2年4月>
		医学概論
兼任	講師	前黒 航史 (51) <令和2年4月>
		病理学
兼任	講師	五十嵐麻希 (40) <令和2年4月>
		生化学
兼任	講師	半田川 優子 (70) <令和2年4月>
		微生物学
兼任	講師	谷地 豊 (58) <令和2年4月>
		薬理学
兼任	講師	林 雅樹 (75) <令和2年4月>
		疾病と治療Ⅰ (呼吸器系・消化器系)
兼任	講師	小山田 吉幸 (55) <令和2年4月>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	横瀬 久美 (61) <令和2年4月>
		法学
兼任	講師	橋本 謙 (48) <令和2年4月>
		スポーツ科学
兼任	講師	日黒 沙也香 (32) <令和2年4月>
		実用英語Ⅰ 実用英語Ⅱ 実用英語Ⅲ
兼任	講師	岡 欣雄 (29) <令和2年4月>
		実用英語Ⅰ 実用英語Ⅱ 実用英語Ⅲ
兼任	講師	高橋 杏那 (30) <令和2年4月>
		実用英語Ⅲ 実用英語Ⅰ 実用英語Ⅱ
兼任	講師	青田 庄真 (31) <令和2年4月>
		実用英語Ⅰ 実用英語Ⅱ 実用英語Ⅲ
兼任	講師	李 英城 (58) <令和2年4月>
		中国語
兼任	講師	荒田 祐治 (49) <令和2年4月>
		スペイン語
兼任	講師	新木一弘 (62) <令和2年4月>
		医学概論
兼任	講師	白石 淳一 (52) <令和3年4月>
		病理学
兼任	講師	五十嵐麻希 (41) <令和2年4月>
		生化学
兼任	講師	半田川 優子 (71) <令和2年4月>
		微生物学
兼任	講師	谷地 豊 (59) <令和2年4月>
		薬理学
兼任	講師	林 雅樹 (76) <令和2年4月>
		疾病と治療Ⅰ (呼吸器系・消化器系)
兼任	講師	小山田 吉幸 (56) <令和2年4月>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名

専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)
		<就任(予定)年月>
		担当授業科目名

・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 「認可又は届出時」には、施設認可時又は届出時の教員名(兼任、兼教員を含む。)を黒字で記入してください。
 ・ 「認可又は届出時」には、施設認可時又は届出時の園長(又は長)の氏名と印を記入してください。
 ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の年齢数を記入してください。
 ・ 専任(専門職大学等は専任、実(研)、実(研)、兼任、兼任の順に記入してください)。
 ・ 不年度(平成30年度開設及び(平成29年度)の兼任は適宜削除し、括弧ください)。

(1) ①～②担当教員表に関する変更内容

【令和2年度】

- 専任専員に関する変更
- ・令和2年3月今井秀樹教授が就任辞退、後任は同4月に着任した内山孝子准教授が専任就任
 - ・令和2年3月長高真由美准教授が就任辞退、後任は同4月に着任したハーネト明香助教が専任就任
 - ・令和2年3月齋藤益子教授が就任辞退
 - ・令和2年3月酒井一夫教授が就任辞退、兼任講師に就任
 - ・令和2年3月加藤江里子講師が就任辞退、兼任講師に就任
 - ・令和2年3月橋原桂里子助教が就任辞退
 - ・令和2年4月鬼澤宏美助教が就任
 - ・令和2年4月テックルト博士助教が就任
 - ・令和2年4月竹内朋子准教授が教授に昇格
 - ・令和2年4月加藤知子助教が講師に昇格
 - ・令和2年4月駒田真由子助教が講師に昇格
 - ・令和2年4月日高未希恵助教が博士（看護学）を取得
 - ・令和2年4月山田恵子助教が博士（看護学）を取得

- 兼任、兼任教員に関する変更
- ・令和2年3月草間朋子教授が就任辞退
 - ・令和2年3月阪口慧兼任講師が就任辞退
 - ・令和2年3月柳原知樹兼任講師が就任辞退
 - ・令和2年3月大島久二兼任講師が就任辞退、後任は新木一弘兼任講師が就任し「医学概論」を担当
 - ・令和2年3月吉川智子講師が就任辞退、後任は五十嵐麻希兼任講師が就任し「生化学」を担当
 - ・令和2年4月栗田真樹兼任講師が就任し「人間関係論」を担当
 - ・実用英語Ⅰ及び実用英語Ⅱを新たに高橋杏紗兼任講師が担当

【令和3年度】

- 専任専員に関する変更
- ・令和2年8月明石真直教授が就任
 - ・令和2年10月田辺洋子講師が就任
 - ・令和3年3月岩本都子准教授が退職
 - ・令和3年3月早坂奈美助教が退職
 - ・令和3年4月大越扶貴教授が就任
 - ・令和3年4月志雅之講師が就任
 - ・令和3年4月廣岡佳代講師が就任
 - ・令和3年4月浦中桂一講師が准教授に昇格
 - ・令和3年4月小嶋奈都子助教が講師に昇格
 - ・令和3年4月日高未希恵助教が講師に昇格

- 兼任、兼任教員に関する変更
- ・令和3年3月高木一晴良が就任辞退、後任は専任教員の佐藤酒准教授が「医療・看護情報学の基礎」を担当
 - ・令和3年3月堀田昇吾講師が就任辞退、後任は専任教員の明石真直教授、小宇田智子准教授、日高未希恵講師が「公衆衛生学」を担当、小宇田智子准教授が「ボランティア論」を担当、山西文子教授が「医療安全学」を担当
 - ・令和3年3月高野南哉講師が就任辞退、後任は専任教員の明石真直教授、小宇田智子准教授が「解剖生理学Ⅰ」「解剖生理学Ⅱ」を担当
 - ・令和3年3月新田功講師が就任辞退、後任は専任教員の浦中桂一准教授が「統計学」を担当
 - ・令和3年3月酒井一夫講師が就任辞退、後任は専任教員の明石真直教授が「実用医療英語」を担当
 - ・令和3年3月大谷孝雄講師が就任辞退、後任は奥山康男講師が「人間工学」を担当

【令和4年度】

- 専任専員に関する変更
- ・令和3年10月田辺洋子講師が退職
 - ・令和3年12月平出美朱子准教授が退職
 - ・令和3年12月山田恵子助教が退職
 - ・令和4年3月大越扶貴教授が退職、兼任講師に就任
 - ・令和4年3月松田健一講師が退職
 - ・令和4年3月廣岡佳代講師が退職
 - ・令和4年3月日高未希恵講師が退職
 - ・令和4年3月嶋谷圭一助教が退職
 - ・令和4年3月篠崎真弓助教が退職
 - ・令和4年11月島田一孝子教授が就任
 - ・令和4年4月新山美奈美准教授が就任
 - ・令和4年4月高田由紀子講師が就任
 - ・令和4年4月丹後キヌ子助教が就任
 - ・令和4年4月岸達也助教が就任
 - ・令和4年4月久保田貴博助教が就任
 - ・令和4年4月逢井智也助教が就任
 - ・令和4年4月赤石幸佳助教が就任が就任
 - ・令和4年4月高橋智子講師が准教授に昇格

- 兼任、兼任教員に関する変更
- ・令和4年3月青田真夏講師が退職、後任は柳原知樹講師が就任し「実用英語Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ」を担当
 - ・令和4年3月飯屋美弥乃講師が退職、後任は阿部貴子講師が就任し「情報リテラシー」を担当
 - ・令和4年3月黒沙也香講師が退職、後任は奥石栄佳講師が就任し「実用英語Ⅱ」を担当
 - ・令和4年3月河村敬雄講師が退職、後任はボイコティアン講師が就任し「実用英語Ⅲ」を担当
 - ・令和4年3月谷本知恵講師が退職、後任は大塚知恵講師が就任し「実用英語Ⅳ」を担当
 - ・令和4年3月古川真樹講師が退職、後任は橋本優講師が就任し「医療と法(看護関係法規)」を担当
 - ・令和4年3月新井公人講師が退職、後任は武田貴弘講師が就任し「疾病と治療Ⅲ(神経系・骨筋系)」を担当
 - ・令和4年3月種山光敬講師が退職、後任は古野毅彦講師が就任し「疾病と治療Ⅳ(精神系)」を担当
 - ・令和4年3月奥山康男講師が退職、後任は川原康弘講師が就任し「人間工学」を担当

【令和5年度】

- 専任専員に関する変更
- ・令和4年5月佐藤酒准教授が退職
 - ・令和5年3月内山孝子准教授が退職
 - ・令和5年3月加藤知子講師が退職、看護学研究科兼任
 - ・令和5年3月井本由希子助教が退職
 - ・令和5年3月テックルト博士助教が退職

- ・令和5年4月佐藤いずみ准教授が就任
- ・令和5年4月吉良理絵講師が就任
- ・令和5年4月関口奈津子助教が就任
- ・令和5年4月森山潤助教が就任
- ・令和5年4月安藤紗矢助教が就任

- 兼任、兼任教員に関する変更
- ・令和5年3月橋本久美が退職、後任は清水澤一郎講師が就任し「法学」を担当
 - ・令和5年3月津澤義典が退職、後任は清水美智子講師が就任し「医療と法(看護関係法規)」を担当
 - ・令和5年3月種島良介講師が退職、後任は田所真紀子講師が就任し「実用英語Ⅴ」を担当
 - ・令和5年3月種山光敬講師が退職、後任は古野毅彦講師が就任し「疾病と治療Ⅴ」を担当

【令和6年度】

- 専任専員に関する変更
- ・令和5年6月赤石幸佳助教が退職
 - ・令和5年12月安藤紗矢助教が退職
 - ・令和6年3月島田三恵子教授が退職
 - ・令和6年3月丹後キヌ子助教が退職
 - ・令和6年3月久保田貴博助教が退職

- ・令和6年1月吉末雅佳助教が就任
- ・令和6年4月坂澤孝教授が就任
- ・令和6年4月上園美香教授が就任
- ・令和6年4月戸津有美子講師が就任
- ・令和6年4月増田理恵助教が就任
- ・令和6年4月吉田美恵子助教が就任
- ・令和6年4月永井文雄助平が助教に昇格

- 兼任、兼任教員に関する変更
- ・令和6年3月新木一弘が退職、後任は小林佳郎講師が就任し「医学概論」を担当
 - ・令和6年3月大塚知恵講師が退職、後任は吉田真直講師が就任し「薬理学」を担当
 - ・令和6年3月大谷智子講師が退職、後任は高橋孝講師が就任し「心理学」を担当

【令和7年度】

- 専任専員に関する変更
- ・令和7年1月ハーネト明香助教が退職
 - ・令和7年3月松山友子教授が退職
 - ・令和7年3月金子あけみ准教授が退職
 - ・令和7年3月高田由紀子講師が退職
 - ・令和7年3月関口奈津子助教が退職
 - ・令和7年3月増田理恵助教が退職

- ・令和7年4月岸恵美子教授が就任

- 兼任、兼任教員に関する変更
- ・令和6年3月尾藤誠司講師が退職、後任は坂山竜彦講師が「疾病と治療Ⅵ」を担当
 - ・令和6年3月横山明弘講師が退職、後任は清水雅之講師が「疾病と治療Ⅶ」を担当
 - ・令和6年12月大越扶貴教授が退職、後任は岸恵美子教授が就任し「在宅看護学実習」を担当
 - ・令和6年3月津澤孝教授が退職、後任は高橋智明講師が就任し「疾病と治療Ⅷ」を担当

(注) 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし」と記入してください。

・ 経理・設備・学生・学務等の専任教員を兼任する場合は、当該専任教員が現職を開始する前に必ず「専任教員採用等設備計画変更書」を提出し、

大学設置・学芸大学審議会による教員資格審査（A教員審査）を受けてください。原則としてA教員審査を受けずに専任教員として現職者を担当することは出来ません。

・ A教員審査の結果、「同一」の教員判定を受けられている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設備認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください

・ 不要な年度（令和7年度開設であれば令和5年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(注)・計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十二条の三の二（短期大学設置基準第三条の二）に基づき「連係協力学部等（連係協力学科）」の専任教員数について、「(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数」及び「(2) - ② 専任教員等数【大学・高専】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時 における設置基準上の 必要教授数
12	6
名	名

(注)・大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一、高等専門学校設置基準第六条第二項及び第三項又は第四項

により算出される専任教員数を記入してください。

・高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学・高専】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	助手 (A')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	助手 (B')
8	9	7	10	34	6	9	8	7	10	34	0
[7]	[9]	[7]	[12]	[35]	0						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	助手 (C')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	助手 (D')
9	8	7	10	34	0	8	9	7	10	34	6
[1]	[Δ1]	[]	[]	[]	[Δ6]	[1]	[Δ1]	[]	[]	[]	[Δ6]

(注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。

・「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。

・「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、

「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、

[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、

[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員の うち、定年を延長 して採用する教員数
65	2	3
歳	名	名

(注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、

及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている

教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{34}{34} = \boxed{100} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{2}{34} = \boxed{5.88} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{6} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由						
1	教授	今井 秀樹	R2.3	必修	0	①	R2年3月…一身上の都合（家族関係）による帰郷のため就任辞退						
				必修	臨床検査学演習	①							
				必修	公衆衛生学	①							
				必修	実用医療英語	①							
				必修	看護研究の基礎	①							
				必修	英語論文のクリティーク	①							
2	教授	齋藤 益子	R2.3	必修	母性看護学概論	①	R2年3月、一身上の都合により就任辞退						
				必修	国際看護学	①							
				必修	英語論文のクリティーク	①							
				必修	卒業研究	①							
3	教授	酒井 一夫	R2.3	必修	臨床検査学演習	①	R2年3月、一身上の都合により就任辞退						
				必修	医療と看護概（国際看護・看護・看護） （在野・内分給系）	①							
				必修	実用医療英語	①							
				必修	看護研究の基礎	①							
				必修	英語論文のクリティーク	①							
				必修	卒業研究	①							
4	講師	長島 真由美	R2.3	必修	災害看護学	①	R2年3月、一身上の都合により就任辞退						
				必修	疾病予防看護学	①							
				必修	自立支援教育論	①							
				必修	在宅看護学概論	①							
				必修	在宅看護学実習Ⅰ （在宅における看護実践と危機）	①							
				必修	英語論文のクリティーク	①							
				必修	在宅看護学実習Ⅱ （地域におけるケアシステムと）	①							
				必修	在宅看護学実習	①							
				必修	看護学統合実習	①							
				必修	卒業研究	①							
5	講師	加藤 江里子	R2.3	必修	英語論文のクリティーク	①	R2年3月、一身上の都合により就任辞退						
				必修	看護学統合実習	①							
				必修	卒業研究	①							
6	助教	篠原 枝里子	R2.3	必修	看護学体験実習	①	R2年3月、一身上の都合により就任辞退						
				必修	日常生活援助展開実習	①							
				必修	看護過程展開実習	①							
				必修	母性看護実践論	①							
				必修	英語論文のクリティーク	①							
				必修	母性看護学実習	①							
				必修	看護学統合実習	①							
				必修	卒業研究	①							
合 計（D）					後任補充状況の集計（E）								
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
6	人	必修	37	科目	必修	37	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	37	科目	計	37	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注)・認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。

- ・「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「（3）-②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）」の理由に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	助教	早坂 奈美	R3.3	必修	看護体験実習	①	R3年3月、一身上の都合により退職（令和3年度）
				必修	日常生活援助展開実習	①	
				必修	看護過程展開実習	①	
				必修	英語論文のクリティーク	①	
				必修	看護学統合実習	①	
				必修	卒業研究	①	
2	教授	大越 扶貴	令和4年3月	必修	看護倫理	①	R4年3月、一身上の都合により退職。（R4年度）
				必修	在宅看護学概論	①	
				必修	在宅看護実践論Ⅰ	①	
				必修	在宅看護実践論Ⅱ	①	
				必修	英語論文のクリティーク	①	
				必修	地域看護学概論	①	
				必修	看護学統合実習	①	
				必修	在宅看護学実習	①	
				必修	卒業研究	①	
3	准教授	平出 美栄子	令和3年12月	必修	母性看護学概論	①	R3年12月、一身上の都合により退職。（R4年度）
				必修	英語論文のクリティーク	①	
				必修	卒業研究	①	
				必修	老年看護学概論	①	

4	講師	松田 謙一	令和4年3月	必修	老年看護実践論	①	R4年3月、一身上の都合により退職。(R4年度)
				必修	老年生活支援実習	①	
				必修	急性期看護論	①	
				必修	成人看護実践論	①	
				必修	老年看護学実習	①	
				必修	成人看護の探求	①	
				必修	英語論文のクリティーク	①	
				必修	看護学統合実習	①	
5	講師	廣岡 佳代	令和4年3月	必修	老年看護実践論	①	R4年3月、一身上の都合により退職。(R4年度)
				必修	慢性期看護論	①	
				必修	老年看護学概論	①	
				必修	英語論文のクリティーク	①	
				必修	老年生活支援実習	①	
				必修	看護学統合実習	①	
6	講師	田辺 洋子	令和3年10月	必修	卒業研究	①	R3年10月、一身上の都合により退職。(R4年度)
				必修	看護学統合実習	①	
				必修	卒業研究	①	
7	講師	日高 未希恵	令和4年3月	必修	看護学体験実習	①	R4年3月、一身上の都合により退職。(R4年度)
				必修	日常生活援助展開実習	①	
				必修	臨床検査学演習	①	
				必修	公衆衛生学	①	
				必修	看護過程展開実習	①	
				必修	英語論文のクリティーク	①	
				必修	看護学統合実習	①	
				必修	卒業研究	①	
				必修	自然科学の基礎	①	
8	助教	嶋谷 圭一	令和4年3月	必修	看護学体験実習	①	R4年3月、一身上の都合により退職。(R4年度)
				必修	日常生活援助展開実習	①	
				必修	看護過程展開実習	①	
				必修	地域看護学概論	①	
				必修	災害看護学	①	
				必修	疾病予防看護学	①	
				必修	自立支援教育論	①	
				必修	在宅看護実践論Ⅰ	①	
				必修	英語論文のクリティーク	①	
				必修	在宅看護実践論Ⅱ	①	
				必修	在宅看護学実習	①	
				必修	看護学統合実習	①	
				必修	卒業研究	①	
9	助教	山田 恵子	令和3年12月	必修	看護学体験実習	①	R3年12月、一身上の都合により退職。(R4年度)
				必修	日常生活援助展開実習	①	
				必修	看護過程展開実習	①	
				必修	小児看護学概論	①	
				必修	小児看護実践論	①	
				必修	小児看護学実習	①	
				必修	看護学統合実習	①	
				必修	卒業研究	①	
10	助教	篠崎 真弓	令和4年3月	必修	臨床検査学演習	①	R4年3月、一身上の都合により退職。(R4年度)
				必修	英語論文のクリティーク	①	
				必修	看護学統合実習	①	
				必修	看護学体験実習	①	
				必修	日常生活援助展開実習	①	
				必修	卒業研究	①	
11	准教授	佐藤 潤	令和4年6月	必修	災害看護学	①	R4年6月、一身上の都合により退職。(R5年度)
				必修	疾病予防看護学	①	
				必修	自立支援教育論	①	
				必修	地域看護学概論	①	
				必修	看護研究の基礎	①	
				必修	在宅看護学概論	①	
				必修	在宅看護実践論Ⅰ	①	
				必修	英語論文のクリティーク	①	
				必修	在宅看護学実習	①	
				必修	看護学統合実習	①	
				必修	卒業研究	①	
				必修	医療・看護情報学の基礎	①	
12	准教授	内山 孝子	令和4年3月	必修	看護実践技術論Ⅰ	①	R4年3月、一身上の都合により退職。(R5年度)
				必修	看護実践技術論Ⅱ	①	
				必修	看護実践技術論Ⅲ	①	
				必修	ヘルスアセスメント	①	
				必修	フィジカルアセスメント	①	
				必修	看護過程と看護方法論	①	
				必修	看護学体験実習	①	
				必修	日常生活援助展開実習	①	
				必修	看護過程展開実習	①	
				必修	英語論文のクリティーク	①	
				必修	看護学統合実習	①	
				必修	卒業研究	①	
13	講師	加藤 知子	令和3年12月	必修	日常生活援助展開実習	①	R3年12月、一身上の都合により退職。(R5年度)
				必修	英語論文のクリティーク	①	
				必修	看護学統合実習	①	
				必修	卒業研究	①	

14	助教	井本 由希子	令和4年3月	必修	日常生活援助展開実習	①	R4年3月、一身上の都合により退職。(R5年度)
				必修	老年看護実践論	①	
				必修	老年生活支援実習	①	
				必修	成人看護実践論	①	
				必修	英語論文のクリティーク	①	
				必修	老年看護学実習	①	
				必修	看護学統合実習	①	
				必修	卒業研究	①	
15	助教	デッケルト 博子	令和4年3月	必修	看護学体験実習	①	R4年3月、一身上の都合により退職。(R5年度)
				必修	看護過程展開実習	①	
				必修	日常生活援助展開実習	①	
				必修	看護学統合実習	①	
				必修	英語論文のクリティーク	①	
				必修	卒業研究	①	
16	助教	赤石 春佳	令和5年6月	必修	看護学体験実習	①	R5年6月、一身上の都合により退職。(R6年度)
				必修	看護過程展開実習	①	
				必修	日常生活援助展開実習	①	
				必修	看護学統合実習	①	
				必修	地域看護学概論	①	
				必修	自立支援教育論	①	
				必修	疾病予防看護学	①	
				必修	在宅看護学実習	①	
				必修	卒業研究	①	
17	助教	安藤 沙矢香	令和5年12月	必修	看護実践技術論Ⅰ	①	R5年12月、一身上の都合により退職。(R6年度)
				必修	看護実践技術論Ⅱ	①	
				必修	看護実践技術論Ⅲ	①	
				必修	看護学体験実習	①	
				必修	看護過程展開実習	①	
				必修	日常生活援助展開実習	①	
				必修	英語論文のクリティーク	①	
				必修	看護学統合実習	①	
				必修	卒業研究	①	
18	教授	島田 三恵子	令和6年3月	必修	母性看護学概論	①	R6年3月、一身上の都合により退職。(R6年度)
				必修	英語論文のクリティーク	①	
				必修	卒業研究	①	
19	助教	久保田 貴博	令和6年3月	必修	看護実践技術論Ⅰ	①	R6年3月、一身上の都合により退職。(R6年度)
				必修	看護実践技術論Ⅱ	①	
				必修	看護実践技術論Ⅲ	①	
				必修	ヘルスアセスメント	①	
				必修	フィジカルアセスメント	①	
				必修	看護過程と看護方法論	①	
				必修	看護教育論	①	
				必修	看護学体験実習	①	
				必修	看護過程展開実習	①	
				必修	日常生活援助展開実習	①	
				必修	英語論文のクリティーク	①	
				必修	看護学統合実習	①	
				必修	卒業研究	①	
20	助教	丹後 キヌ子	令和6年3月	必修	老年看護学実習	①	R6年3月、一身上の都合により退職。(R6年度)
				必修	老年生活支援実習	①	
				必修	成人看護実践論	①	
				必修	老年看護実践論	①	
				必修	日常生活援助展開実習	①	
				必修	看護学統合実習	①	
				必修	英語論文のクリティーク	①	
				必修	卒業研究	①	
21	講師	高田 由希子	令和7年3月	必修	老年看護実践論	①	R7年3月、一身上の都合により退職。(R7年度)
				必修	慢性期看護論	①	
				必修	急性期看護論	①	
				必修	成人看護実践論	①	
				必修	成人看護の探求	①	
				必修	急性期看護学実習	①	
				必修	看護学統合実習	①	
				必修	英語論文のクリティーク	①	
				必修	卒業研究	①	
22	助教	関口 奈津子	令和7年3月	必修	フィジカルアセスメント	①	R7年3月、一身上の都合により退職。(R7年度)
				必修	英語論文のクリティーク	①	
				必修	看護学統合実習	①	
				必修	卒業研究	①	
				必修	在宅看護学概論	①	
23	助教	増田 理恵	令和7年3月	必修	英語論文のクリティーク	①	R7年3月、一身上の都合により退職。(R7年度)
				必修	在宅看護実践論	①	
				必修	卒業研究	①	
				必修	在宅看護学実習	①	
				必修	看護学統合実習	①	
				必修	ヘルスアセスメント	①	
24	助教	ハーネド明香	令和7年1月	必修	英語論文のクリティーク	①	R7年1月、一身上の都合により退職。(R7年度)
				必修	看護学統合実習	①	
				必修	卒業研究	①	
				必修	看護実践技術論Ⅰ	①	
				必修	看護実践技術論Ⅱ	①	
				必修	看護実践技術論Ⅲ	①	
				必修	看護実践技術論Ⅲ	①	

				必修	看護課程と看護力 注 冊	①			
				必修	看護学体験実習	①			
				必修	看護過程展開実習	①			
				必修	日常生活援助展開実習	①			
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)	③の合計数 (c)		
24	人	必修	184 科目	必修	184 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	184 科目	計	184 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注)・一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について、記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、**赤字**にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。
 - ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する (している) 場合は「①」
 ・兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」
 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
30	人	必修	221 科目	必修	221 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	221 科目	計	221 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計 (D) + (F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画 (A)}} = \frac{30}{34} = 88.23 \%$$

(注)・小数点以下第 3 位を切り捨て、小数点以下第 2 位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和 6 年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

4 人

- (注)・(3) - ④、(3) - ② で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。
- ・令和 7 年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由							
1	准教授	岩本 郁子	必修	看護倫理	①	R3年3月、定年により退職（R3年度）							
			必修	看護理論	①								
			必修	英語論文のクリティーク	①								
			必修	看護統合実習	①								
			必修	卒業研究	①								
2	教授	松山 友子	必修	ヘルスアセスメント	①	R7年3月、定年により退職（令和7年度）							
			必修	英語論文のクリティーク	①								
			必修	看護学統合実習	①								
			必修	卒業研究	①								
			必修	看護実践技術論Ⅰ	①								
			必修	看護実践技術論Ⅱ	①								
			必修	看護実践技術論Ⅲ	①								
			必修	看護過程と看護方法論	①								
			必修	看護学体験実習	①								
			必修	看護過程展開実習	①								
			必修	日常生活援助展開実習	①								
			必修	英語論文のクリティーク	①								
			3	准教授	金子 あけみ		必修	卒業研究	①	R7年3月、定年により退職（令和7年度）			
必修	疾病と治療Ⅳ	①											
必修	看護職とキャリア形成	①											
必修	災害看護学	①											
必修	看護政策論	①											
合計						後任補充状況の集計							
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
3	人	必修	22	科目	必修	22	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	22	科目	計	22	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注)・ 定年により退職した全ての専任教員について、記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。

- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

専任教授1名、専任准教授1名、専任講師1名、専任助教3名が、一身上の都合により退職及び辞任をされたが、教育に支障が生じない様、後任の補充を行うとともに、担当科目については、科目責任者を始め、複数の教員で担当しているため教育に支障は生じないとする。また、学生への周知はシラバスならびに、カリキュラムガイダンスを通じて、担当教員の変更を通知している。

(注)・ 上記（3）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入し

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (平成31年5月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和2年5月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和3年5月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和4年度)	多くの専任教員が就任 辞退又は辞任している が、原因分析や改善策 が十分ではないため、 教育研究水準の維持向 上等に配慮した安定的 な教員組織の編成のた め、詳細な原因分析及 びより効果的な改善策 について検討すること。 【AC】 指摘事項 (改善)	退職者5名の減少要因は、学部長が 東が丘に専念するとともに領域長 への権限移譲による人事管理体制に 強化によるもの(5)。	・業務のスリム化による教員の研 究、教育活動に時間の捻出。 ・ハラスメント防止を徹底し風通 しのよい職場づくり。(5)
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和5年度)	多くの専任教員が就任 辞退又は辞任している が、改善策が十分では ないため、教育研究水 準の維持向上等に配慮 した安定的な教員組織 の編成のため、詳細な 原因分析及びより効果 的な改善策について検 討すること。 【AC】 指摘事項 (改善)	退職の原因として、持病含むメン タル上の不調による者(2名)、子 育てに専念(1名)、職位のアップ を求めて他校へ異動(5名/講師と して千葉大学、東京医科歯科大 学、石川県立看護大学、東邦大学 等)となっている。他校異動のう ち2名は先方から働きながらの大学 院博士課程進学は不可と指導さ れ、退職している。 研究科含めた看護系大学の設置が 複数あり、即戦力を求めた他校か らの魅力的な引き抜きをどうして も断れない者がいた事実もある。 その後の対応は以下の通り。 ①教員を2名増員し、その後も大学 院での研究指導のために更に特任 教授を2名増員した ②委員会活動等も業務の見直しに より学生が主体的に活動できるよ うにした。業務のスリム化が進む なかで責任の負担が過重にならない ように工夫もしている ③効率化を図るため、ITを活用 し、各自パソコンから実践評価を 入力することで個人の技術達成度 を見える化した ④学生の教育課程において修了要 件を見直し129単位から124単位と したことは学生だけでなく教員た ちのゆとりにつながっている (6)	・業務のスリム化による教員の研 究活動時間の捻出。 ・欠員発生時の補充に備えた募集 活動の常時継続(6)
設置計画履行状況 調 査 結 果	改善策を講じているもの の、引き続き多くの 専任教員が就任辞退又 は辞任していることか ら、教育研究水準の維	令和6年度の退職状況について確認 したところ、定年退職が2名、病気 による退職が1名、 キャリア上の選択による退職が3名 (臨床現場への復帰、研究職への 転身、他大学からの魅力的なオ ファー)となっております。 いずれも個別の事情に基づくもの であり、制度のみで一律に抑制し 得るものではありませんが、 教育研究水準の維持向上および教 員組織の安定的な編成に資するよ う、引き続き既存対応策の実施と 更なる改善策の検討を進めてまい ります。	・業務のスリム化による教員の研 究活動時間の捻出。 ・欠員発生時の補充に備えた募集 活動の常時継続 ・ティーチング・ポートフォリオ の導入(7)

(令和6年度)	つ、教員一人ひとりの維持向上等に配慮した安定的な教員組織の編成のため、提示された改善策を着実に実施するとともに、詳細な原因分析及びより効果的な改善策について検討すること。	【AC】 指摘事項 (改善)	その一環として、夏休み期間中の8月、9月の実習指導をなくし、この期間を研究活動、教育準備に充てられるよう教員のゆとり時間を増やしています。また、令和7年度より「ティーチング・ポートフォリオ」を導入予定です。 本取組は、教員の教育実践を記録・可視化し、教育の質保証と教員の成長支援を図るとともに、教育活動を起点とした建設的な対話と振り返りの機会を提供するものです。 これにより、教員一人ひとりのキャリア形成や教育・研究活動の改善を促進し、結果として安定的な教員組織の形成に寄与することを期待しております。(7)	履行中
---------	---	----------------------	--	-----

(注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。

【令和6年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「(6)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(7)」と記載してください。

【令和6年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「(6) (7)」と記載してください。

【令和7年度から新たに調査対象となった学科等又は令和6年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(7)」と記載してください。

- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。
その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<東が丘看護学部 看護学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど
	該当なし

(注)・1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

東京医療保健大学東が丘看護学部FD委員会規程（別途添付）に基づき、東が丘看護学部FD委員会を設置
東京医療保健大学東が丘看護学部FD委員会規程

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

8月を除き毎月一回の開催であり、委員は全員参加が原則である。

c 委員会の審議事項等

上記規程の通り

- (1) 授業内容・方法の改善。
- (2) 研究推進体制の整備。
- (3) 各種研修会、研究会の実施。
- (4) 外部研究費の導入の推進。
- (5) 職員研修会等の実施。
- (6) その他FDに関すること。

② 実施状況

a 実施内容

① 6.20（木）新着任教員研修

テーマ：「委員会活動とFD研修について」

② 8.8（木）第2回

テーマ：「JANPU看護学教育の倫理綱領の改訂から見えること」

③ 9.2（月）第3回

テーマ：「明日からできる、研究での生成AI活用
～ファクトチェックとプロンプトカスタム術の要諦～」

④ 9.18（水）第4回

テーマ「コミュニケーションの視点から授業を考える」

⑤ 2.20（木）第5回

テーマ：「DXシステムの活用事例共有」

b 実施方法

対面、及び遠隔参加講習

c 開催状況（教員の参加状況含む）

新任研修に関しては対象者全員が参加、その後の3回の研修会については各30名程度の教員が参加した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

受講の結果、教員それぞれが自らの授業の振り返りや講義によって得た新たな気づきに基づき、授業設計にあたっての考え方や授業内容、授業の進め方を見直すきっかけとなっている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

例年実施しており、6年度においても各セメスター最終授業日に実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

・ホームページ等で公開している。また、各授業の結果については科目責任者教員に配布している。

(注)・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

指導教員や実習施設の実習指導者が熱心な指導をしてきた結果、高度な判断力と実践力の修得に係る東が丘看護学部の学生の評価は、極めて満足のいくレベルにあり、平成6年度の看護師国家試験合格率も98%、卒業後の進路も1名を除き就職、または進学と堅調であり、教員も学生も最終目標に近づいていると考えている。看護技術のチェックリストはポートフォリオ入力し、その都度データが集計されて実習施設での途中経過が解る様になり、大変便利に活用できるようになっている。今後とも学生の主体性や計画的な活動を促しつつ良質な教育の提供を継続していきたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

例年教育研究等の状況について自己点検・評価後、それぞれ報告書を取りまとめ公表しており、今年度も報告書を取りまとめている段階。公表予定は5月末としている。

b 公表方法

点検・評価報告書については、本学の大学経営会議及び理事会・評議員会において審議・承認を経た後、ホームページ上に公開している。

③ 認証評価を受ける計画

（専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。）

・令和7年に評価機関（大学基準協会）の評価を受ける予定

（注）・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和7年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。